

**TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
EXAMINATION
GUIDE BOOK 2012**

東北学院大学 受験ガイド 2012

GUIDE BOOK 2012

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
EXAMINATION
GUIDE BOOK 2012

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
EXAMINATION
GUIDE BOOK 2012

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
EXAMINATION
GUIDE BOOK 2012

東北学院大学 受験ガイド 2012

入学者受け入れの方針

本学は、東北学院の建学の精神、教育理念に理解を示していること、及び入学しようとする学部学科での学修に必要な学力を有していることを基本的要件としながら、さらに次の点を考慮しつつ、入学者を広く受け入れる。

- ①大学での学修に必要な能力(コミュニケーション力、思考力、文章力など)をもっていること
- ②入学しようとする学部学科の教育内容を理解したうえで、その学部学科での学修を強く望んでいること
- ③建学の精神への深い理解と共感をもっていること
- ④スポーツに優れていること
- ⑤外国人留学生もしくは社会人であること

contents

●2012年度入試の主な変更点と募集定員	1
入学試験概要	
アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験	2
帰国生特別入学試験	8
学業成績による推薦入学試験(指定校推薦)	9
資格取得による推薦入学試験(指定校推薦)	10
キリスト者等推薦入学試験(公募推薦)	11
スポーツに優れた者の推薦入学試験(公募推薦)	12
外国人留学生特別入学試験	14
社会人特別入学試験	15
一般入学試験	16
大学入試センター試験利用入学試験	19
編入学試験	22
推薦・AO・特別入学試験小論文問題	24
2011年度入学試験結果	26
被災された受験生の皆さまに対する入学検定料の免除措置について	31
受験生Q&A	32
学生納付金等・奨学金制度	34
進学相談会日程	35
オープンキャンパス	36
募集要項(願書)の請求方法	

2012年度入試の主な変更点と募集定員

●主な変更点

1. 文学部英文学科夜間主コースの変更について
 - ①一般入試(学科分割型、後期日程)、学業推薦、社会人Bの募集定員変更。
2. 経済学部経済学科の変更について
 - ①「大学入試センター試験利用入試後期」を導入。
3. 経営学部経営学科の変更について
 - ①「資格取得による推薦入試」出願資格が「日商簿記検定2級以上合格の方」に変更。
4. 教養学部情報科学科の変更について
 - ①一般入試後期日程試験科目に物理(物理Ⅰ・Ⅱ)、化学(化学Ⅰ・Ⅱ)を追加。
5. 大学入試センター試験利用入試の変更について
 - ①地理歴史・公民の科目に『倫理、政治・経済』を追加。
〔文学部(英文学科、総合人文学科)、経済学部、経営学部、法学部、教養学部〕

◆入試に関する変更の詳細については、大学案内、受験ガイド、大学ホームページに加えて、高校・予備校などの先生方には本学主催の進学指導者懇談会などで説明いたします。
また受験生の皆さんにはオープンキャンパス、進学相談会などで詳しく説明いたしますが、最終的には各募集要項で確認してください。

●学部・学科および募集定員(2012(平成24)年度)

学部	学科・コース	募集定員	一般入学試験				大学入試センター試験利用入学試験		AO入学試験		推薦入学試験						外国人学生特別入学試験	社会人特別入学試験	
			前期日程		後期日程	前期	後期	A日程	B日程	キリスト教等推薦入試	スポーツ推薦入試	学業推薦入試	資格取得推薦入試	T・G推薦入試	A日程	B日程			
			全学部型	学科分割型															
文学部	英文学科	昼間主	200	30	55	8	13	7	30	5	2	4	38	-	6	2	-	-	
		夜間主	30	3	3	2	3	2	2	1	1	1	5	-	1	-	3	3	
	総合人文学科	30	3	4	2	3	2	4	1	1	1	5	-	2	1	-	1		
	歴史学科	150	25	45	8	12	3	13	2	2	4	26	-	9	1	-	-		
経済学部	経済学科	400	80	114	8	20	5	30	2	4	32	60	-	39	1	-	5		
	共生社会科学	170	25	41	5	8	2	25	3	2	13	25	-	17	2	-	2		
経営学部	経営学科	310	40	75	15	20	10	23	2	3	20	40	25	29	3	-	5		
法学部	法律学科	325	67	100	10	15	10	28	3	3	20	35	-	30	2	-	2		
工学部	機械知能工学科	120	20	26	4	10	2	12	2	2	2	26(8)	-	12	1	-	1		
	電気情報工学科	120	20	26	4	10	2	12	2	2	2	26(8)	-	12	1	-	1		
	電子工学科	100	18	20	3	9	2	8	2	2	2	22(7)	-	10	1	-	1		
	環境建設工学科	100	18	20	3	9	2	8	2	2	2	22(7)	-	10	1	-	1		
教養学部	人間科学科	100	20	25	4	8	2	6	1	2	7	16	-	7	1	-	1		
	言語文化学科	100	20	25	4	8	2	5	1	2	6	16	-	9	1	-	1		
	情報科学科	100	20	25	4	8	2	5	1	2	6	16	-	9	1	-	1		
	地域構想学科	100	20	25	4	8	2	6	2	2	7	15	-	7	1	-	1		
合計		2,455	429	629	88	164	57	217	32	34	129	393(30)	25	209	20	3	26		

【注意】

- ① AO入学試験とは、「アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験」。
- ② 「学業成績による推薦入試」の定員数における()内の数字は、職業教育を主とする学科出身者のためのもので内数。
- ③ TG推薦入試は、併設高校(東北学院高校、東北学院榴ヶ岡高校)からの推薦入試募集定員数(209名)です。

アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次の全てに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方または平成24年3月までに取得見込みの方
- ②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、かならず入学手続きをする意思のある方
- ③出願する本学の学部学科に入学した場合、そこに学ぶ学生として、積極的に有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性を持っている方で、それをアピールできる方

選抜方法

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して最終的合否を判定します。

- (1)第一次選抜(本学所定の「第一次選抜審査申請書」と「第一次選抜志願票」を提出してください。既卒者は学校からの調査書<高等学校卒業程度認定試験合格者は成績証明書、合格見込みの方は受験票のコピー>を添付してください。)書類審査と面接によって、A、B、C、Dの4段階で評価します。ただし、書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。評価結果は決まりしだい出願者に通知します。

〈第一次選抜の評価結果について〉

- A：特段の事情がないかぎり合格とする。
- B：合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる。
- C：不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる。
- D：不合格とする。

この評価でA～Cまでの方が第二次選抜に出願できます。

また、第二次選抜においても、この第一次選抜での評価が大きな比重を占めます。

- (2)第二次選抜(本学所定の出願書類と学校からの調査書を提出してください。)第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。小論文と面接の試験を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合して最終的合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

〈試験内容〉

①小論文

【文・経済・経営・法・教養学部】

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60分/800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述などをします。(60分/600字程度)

②面接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)



- (1)第一次選抜募集要項の請求は、次の通りです。在籍している現役生は、学校の先生を通してお申し込みください。既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格者や社会人等は、直接本学入試課に請求してください。なお、第一次選抜審査申請書の見本は3ページに掲載しています。
- (2)第二次選抜募集要項は、第一次選抜の評価通知と併せて出願者本人(現役生には学校を通して)に送付します。
- (3)前年度の小論文の問題は24、25ページに掲載しています。評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

AO 入試における重要評価点 (学科別)

学部・学科		重要評価点
文学部	英文学科 (昼間主コース)	<ol style="list-style-type: none"> 十分な学力の裏付けがあること。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること。(第一次選抜の面接において、英語文章を黙読の後、音読する課題が与えられることがある。) 知的好奇心が旺盛であること。(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある。) 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉強プランをもっていること。
	英文学科 (夜間主コース)	上記に加え、夜間主コースで学ぶはっきりした理由があること。
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉強に強い意欲を有していること。 英語を含めた基礎的学力を有していること。 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもっていること。 社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。
	歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること。(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある) 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。 歴史に関する基礎知識を有していること。
経済学部	経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 基礎学力が十分にあること。 本学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしていること。 現代社会の動きに強い関心をもち、それについて深く調べることが好きなこと。 社会とは何か、とくに経済とは何かを探求したいという強い意欲をもっていること。 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。(あるテーマで、グループ・ディスカッションを行います。)
	共生社会経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 共生社会経済学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 共生社会経済学科で学びたいという明確な意志をもっており、それを自分の言葉で表現できること。 社会奉仕活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に、積極的に取り組もうとする意欲をもっていること。
経営学部	経営学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学部で学ぶための基礎学力があること。 基礎学力とは、国語・数学・英語のほか、たとえば日商簿記検定2級程度に合格していること、実用英検2級程度に合格していることであってもよい。 企業経営、企業活動、製品開発など経営全般に関して、どのような点に強い興味をもっているのか自分の言葉で表現できること。 社会や経済、経営全般に関して疑問をもったことについて、自ら進んで調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること。 本学部に入学することによって何を学ぼうとし、それを将来どのように生かすかについての明確なビジョンをもち、説明できること。
法学部	法律学科	<ol style="list-style-type: none"> 学力が本学法学部で学ぶための水準に達していること。 本や新聞などを通して、社会への高い関心と豊かな知識を持ち、社会的問題を理論的かつ多面的に考えることができること。 法学部で学ぶ内容をよく理解しており、そのうえで、本学部での勉強を志望する明確な理由があること。 またこうしたことを、自分の言葉で適切に表現できること。
工学部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を持ち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。 AO入試により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。
	電気情報工学科	<ol style="list-style-type: none"> AO入試を選択した理由を明確に説明できること。 本学科の教育内容を十分に理解したうえで、明確な勉強動機と目標をもち、意欲的かつ積極的であること。 電気情報工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもっていること。
	電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> 電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 先端科学技術に強い関心をもち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標をもっていること。 自己の人間性を高め、人間社会、地球環境、地域発展への貢献を希望していること。 大学で科学、技術を学ぶときに活かされるような体験や特技をもっていること。
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> 良好な人間社会の創造、特に都市および地域環境の創造に大きな興味をもち、かつ社会基盤を形成する構造物の設計や都市環境の保全を学ぶための十分な基礎学力を有していること。 地球環境・地域環境のあり方に興味を持ち、自然環境と調和可能な新しいテクノロジーについて学ぶ強い意欲があること。 ひと、社会、自然に興味をもち、技術者として、社会、地球環境、地域の発展への貢献を希望していること。

学部・学科		A O 入試における重要評価点
教養学部	人間科学科	1. 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。 2. 人間の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に読解する基礎的な学力を有すること。 3. 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。
	言語文化学科	1. 英語をはじめとした基礎科目について、本学で学ぶための十分な学力を有していること。(第一次選抜の際、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある。) 2. ドイツ語、フランス語、中国語、あるいは韓国・朝鮮語を、第二外国語として学ぶ強い意欲があること。 3. ことばを中心に形成されている文化現象に関心と興味があること。例えば、映画・演劇・美術・音楽のような表現文化、挨拶や儀式といった風俗・習慣、地域に固有の方言・伝統・制度、神話・文学・思想、言語やコミュニケーションの構造や病理、説得術やレトリック、異文化理解や翻訳の原理と実際、日本語、日本文化など。
	情報科学科	1. 大学での学習に必要と思われる学科目に関する基礎学力と理解力をもち、同時にコンピュータ科学系、数学系、理科系のいずれかの科目に強い関心をもっていること。 2. 情報科学科のカリキュラムをある程度理解し、そのなかで目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 3. 広く社会や科学・技術の動向、教養学部に関連する諸学問分野に関心があること。 4. 明確な自己表現の能力があること。
	地域構想学科	1. 地域構想学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志があること。 3. これまで、校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、そのことをアピールする表現力と説得力をもっていること。 4. 将来も地域に積極的にかかわっていかうとする明確な目的と意欲をもっていること。

※各学科のホームページも参照してください。

試験日程

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間(予定)	評価通知(予定)	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	8月19日(金)～8月25日(木)	9月5日(月)～9月17日(土)	9月21日(水)	10月24日(月)～10月28日(金)	11月8日(火)	11月18日(金)
	9月14日(水)～9月20日(火)	9月30日(金)～10月12日(水)	10月17日(月)	15時まで郵送必着		
B日程	11月17日(木)～11月22日(火)	11月30日(水)～12月3日(土)	12月6日(火)	12月8日(木)～12月13日(火)	12月21日(水)	12月27日(火)

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

試験場

		文・経済・経営・法学部	教養学部	工学部
第一次選抜		土樋キャンパス	泉キャンパス	多賀城キャンパス
第二次選抜	A日程	泉キャンパス		
	B日程	土樋キャンパス		

入学検定料

第一次選抜 無料
第二次選抜 33,000円

合格発表

A日程 平成23年11月18日(金)
B日程 平成23年12月27日(火)
合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。
また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

A日程 平成23年12月9日(金)
B日程 平成24年1月13日(金) } 15時まで郵送必着または窓口受付とします。
入学手続きは、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

AO 入試 Q&A

Q アドミッションズ・オフィス (AO) とはどんな意味があるのですか？

A 米国では、大学への入学者を選抜する際、わが国における学力試験のような試験を課さず、入学者を選抜することを目的に設置された部局の担当者が、書類審査や面接などによってすべての入学者選抜を行います。この部局のことをアドミッションズ・オフィス (Admissions Office または Office of Admissions) と呼ぶことが多いようです。AO はその省略形です。

東北学院大学では、各学部・学科から選出された委員からなる、アドミッションズ・オフィス委員会が設置されています。本学の AO 入試はこの委員会が中心となって実施されます。

Q 東北学院大学では、AO 入試にどんな方が出願するのを期待しているのですか？

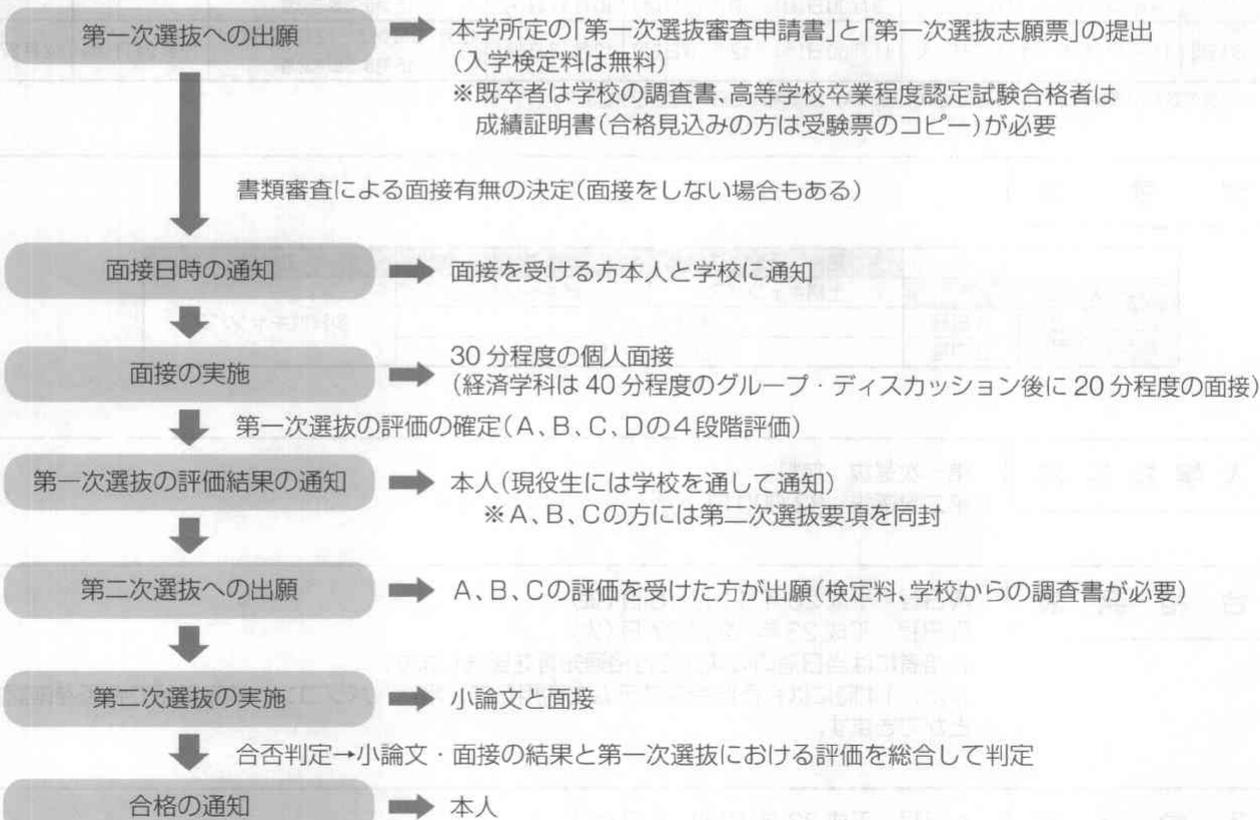
- A** 例えば、次のような方が出願されることを期待しています。
- ① 学力の特に優れた方で、本学の学業推薦に出願できない理由のある方
(例：学業推薦の指定校でない場合や指定校でも希望学科が異なる場合など)
 - ② 生徒会・部活動などで優れた指導性を発揮した方や、文化・芸術・スポーツ、その他特別の能力・技能で高い評価をえた方
 - ③ ボランティアなど社会に貢献した活動で高い評価を得た方
 - ④ 帰国生など特色ある教育歴をもつ方
 - ⑤ その他、本学で勉学することを特に希望する方

しかし、こうした項目の多くに該当したり、あるいはある項目によりよく該当するからといって、それがそのまま合格につながるわけではありません。重要なのは、志願する本学の学科で必要とされる学力、意欲、適性などが顕著に見られる、と評価されることなのです。

各学科が具体的にどのような点を重視しているのかについては、4、5 ページの「AO 入試における重要評価点 (学科別)」に詳しく書いてあります。また各学科のホームページ等も十分参考にしてください。

Q AO 入試の出願から合格発表までの流れを教えてください。

A だいたい次のようになります。



Q 第一次選抜は「書類審査と面接」とありますが、特にどんな点を評価対象にするのですか？

A これまでの説明からも分かるように、その受験生を入学させたとき、きっと「良い」（単に勉学の面で優れているという点だけでなく、個性的で人間的な魅力のある）学生として、その学科に良い影響をもたらすかどうか重要な評価対象となります。

受験生は、申請書や面接で（特に面接で）、そうした点を自分のアピールポイントとして、しっかりと伝えることができるかどうか、非常に重要になります。

また、受験生に求める学力、意欲、適性は、4、5ページの「AO入試における重要評価点」に示すように、学科ごとに違います。したがって、面接も出願した学科のAO委員が、それぞれの方法で行います。面接では、多くのことについて、かなり内容の深い質問がされます。

Q 第一次選抜の評価結果はどのような形で示されるのでしょうか？

A 評価は、A～Dの4段階で行われ、その結果は学校の先生を通して受験生に書類で通知されます。ただし、既卒者、高等学校卒業程度認定試験合格（合格見込み）の方は直接本人に通知されます。

この評価がA～C段階までの方が第二次選抜に出願できることとなります。

第二次選抜においては、小論文と再面接を行いますが、この第一次選抜における評価が大きな比重を占めることは言うまでもありません。

Q 第一次選抜の評価がBやCの場合、合格の可能性はどのくらいでしょうか？

A 26ページにある平成23年度AO入学試験結果を参照してください。一般的には、Bの場合は合格する可能性は高く、逆にCで合格する可能性は低いことが分かります。

Q このAO入試には何回か出願期間がありますが、複数回の出願は可能ですか？

A A日程には2回の出願期間がありますが、出願できるのは2回のうちいずれか1回だけです。したがって、A日程の中で同じ学科に重ねて出願したり、複数の学科に出願することはできません。

これに対して、A日程とB日程の両方に出願することは可能です。ただし、A日程で受けた学科にB日程で再度出願することはできません。たとえば英文学科の昼間主コースと夜間主コースは同じ学科ですので、たとえ出願するコースを変えたとしても、出願することはできません。

また、B日程は出願期間が短いので、出願にあたっては早めに準備をしておいてください。

Q このAO入試は、従来の推薦入試、特に自己推薦入試と呼ばれるものと比較したとき、どこが違うのでしょうか？

A 本学のAO入試は、従来の他大学で行われている自己推薦入試とは異なります。これまでの自己推薦入試と違う点は、AO委員による評価（特に面接による評価）が合否判定に大きなウエイトを占める点です。そのため、受験生のさまざまな長所や大学での勉学意欲などを多面的かつ総合的に評価します。

また、本学のAO入試の場合、出願が8月後半からできること、第一次選抜には検定料を取らないことも特徴です。

Q AO入試では、従来の推薦入試よりもさらに早い時期に、実質的に合格が保証される受験生も出てくると思いますが、そうした人たちは、その後の学校生活に緊張感がなくなるのではないのでしょうか？

A その危険性は十分に考えられます。それを防ぐために、本学では、AO入試の合格者には、4月の入学時まで学習しておくべき課題を与えています。その内容は学部・学科ごとに（課題図書レポート、スクーリング等課題添削）ちがいます。入学までの準備期間を十分に生かして、大学の学習に必要な学力の向上を目指していただきたいと考えます。

帰国生特別入学試験

募集定員

文学部	英文学科(昼間主コース)	若干名	工学部	機械知能工学科	若干名
	英文学科(夜間主コース)	//		電気情報工学科	//
	総合人文学科	//		電子工学科	//
	歴史学科	//		環境建設工学科	//
経済学部	経済学科	//	教養学部	人間科学科	//
	共生社会経済学科	//		言語文化学科	//
経営学部	経営学科	//	情報科学科	//	
法学部	法律学科	//	地域構想学科	//	

出願資格

次のいずれかに該当する方で、日本国籍を有し、家族の外国勤務・在留にともない外国の学校に在学し、卒業後大学入学時までの経過年数が原則として1年未満の方です。

- ①外国において通常の課程による12年の学校教育課程(日本における通常の課程による学校教育期間を含む)を修了し、そのうち外国において在住国の正規の教育制度に基づく中等教育機関に最終学年を含めて2年以上継続在学して卒業した方、または2012年(平成24年)3月までに卒業見込みの方。
- ②外国において、中等教育機関に3年以上継続して在学し、外国の学校教育課程に基づく教育を受け、帰国後日本の高等学校に入学し、当該高等学校を2012年(平成24年)3月までに卒業見込みの方。
ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)における在学期間が帰国後1年半を超えない方。
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方に準ずる方で、文部科学大臣の指定した方。(原則として、最終学年を含めて2年以上継続在学した方であること)

選抜方法

試験日程

試験場

入学検定料

合格発表

入学手続

すべて「アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験」に準じます。
2～7ページを参照してください。

学業成績による推薦入学試験(指定校推薦)

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次の全てに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方
- ②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の方
- ③本学が指定した学校長からの推薦による方

選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に選抜します。

【文・経済・経営・法・教養学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	100	200	100	400

【工学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

(1)小論文

【文・経済・経営・法・教養学部】

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60分/800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述などをします。(60分/600字程度)

(2)面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)



(1)前年度の小論文の問題は24、25ページに掲載しています。

評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

(2)面接では、志望動機、勉強意欲、将来についての考え等を聞かれます。言動・態度等も併せて評価のポイントになります。

試験日程

日程	出願期間	試験日	試験場	
			文・経済・経営・法・教養学部	工学部
	10月24日(月)～10月28日(金) 15時まで郵送必着	11月8日(火)	泉キャンパス	多賀城キャンパス

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000円

合格発表

平成23年11月18日(金)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

平成23年12月9日(金) 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

入学手続きは、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

資格取得による推薦入学試験(指定校推薦)

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次の全てに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方
- ②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の方
- ③日商簿記検定2級以上合格の方
- ④本学が指定した学校長からの推薦による方

選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	100	200	100	400

(1)小論文

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60分/800字程度)

(2)面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)



(1)前年度の小論文の問題は24ページに掲載しています。

評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

(2)面接では、志望動機、勉強意欲、将来についての考え等を聞かれます。言動・態度等も併せて評価のポイントになります。

試験日程

	出願期間	試験日	試験場
日程	10月24日(月)～10月28日(金) 15時まで郵送必着	11月8日(火)	泉キャンパス

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000円

合格発表

平成23年11月18日(金)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

平成23年12月9日(金) 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

入学手続は、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

キリスト者等推薦入学試験(公募推薦)

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次に該当する方が出願できます。

①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験する資格を取得した方または平成24年3月までに取得見込みの方

②調査書の全体の評定平均値が3.5以上の方

上記の条件を満たし、かつ次のいずれかの条件を満たす方

1)キリスト者である方

2)キリスト教を建学の精神とする学校の生徒であり、建学の精神を理解し、学校における活動、例えば、聖書研究会、聖歌隊、ボランティア活動において顕著な業績を残した方。志願に際しては、学校(宗教主任等)からの推薦が必要です。

注意:キリスト教を建学の精神とする学校とは、キリスト教学校教育同盟、あるいは日本カトリック学校連合会に所属する学校を対象とします。

※出願資格の条件については、事前に入試課に問い合わせ確認してください。

選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に選抜します。

【文・経済・経営・法・教養学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	100	200	100	400

【工学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

(1)小論文

【文・経済・経営・法・教養学部】

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60分/800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述などをします。(60分/600字程度)

(2)面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)



(1)出願資格1)のキリスト者の場合は、所属教会牧師・神父・司祭による受洗証明と推薦状が必要です。また2)の場合は、学校(宗教主任等)の推薦状が必要です。募集要項にその指定用紙が入っています。

(2)前年度の小論文の問題は24、25ページに掲載しています。

評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

(3)面接では、志望動機、勉学意欲、将来についての考え等を聞かれます。言動・態度等も併せて評価のポイントになります。

試験日程

日程	出願期間	試験日	試験場	
			文・経済・経営・法・教養学部	工学部
	10月24日(月)～10月28日(金) 15時まで郵送必着	11月8日(火)	泉キャンパス	多賀城キャンパス

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000円

合格発表

平成23年11月18日(金)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

平成23年12月9日(金) 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

入学手続きは、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

スポーツに優れた者の推薦入学試験(公募推薦)

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次の全てに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方
- ②調査書の全体の評定平均値が3.0以上の方
- ③スポーツで特に優れ、入学後その競技を継続する意志のある方
- ④学校長からの推薦による方

※対象となるスポーツは、本学の学生会体育会(部)に所属する部で行われている種目に限ります。

選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接、スポーツテストにより総合的に選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

(1)小論文

【文・経済・経営・法・教養学部】

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60分/800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述などをします。(60分/600字程度)

(2)面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)

(3)スポーツテスト

「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けていない方は、専門種目の技能についてテストを行います。



- (1)出願を希望する方には、「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けることを勧めます。審査料は無料です。この審査を受けると審査結果の概要を聞くことができるとともに、推薦入試当日のスポーツテストが免除されます。
- (2)予備審査申請書用紙の請求は学生課(022-264-6471)または入試課に電話で申し込んでください。
- (3)前年度の小論文の問題は24、25ページに掲載しています。評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

試験日程

日程	出願期間	試験日	試験場	
			文・経済・経営・法・教養学部	工学部
	10月24日(月)～10月28日(金) 15時まで郵送必着	11月8日(火)	泉キャンパス	多賀城キャンパス

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000円

合格発表

平成23年11月18日(金)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14時には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

平成23年12月9日(金) 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

入学手続きは、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

外国人留学生特別入学試験

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次の(1)、(2)、(3)に該当する方です。

(1) 2012年(平成24年)4月1日現在、外国籍をもつ満18歳以上になる方で、次の①、②のいずれかに該当する方

① 外国において通常の課程による12年の学校教育課程を修了した方、あるいはその国において大学入学資格を有する方

② 文部科学大臣の指定した方

(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を2011年(平成23年)6月または11月に指定する教科・科目を受験した方で、日本語の得点が、受験生の平均点以上の方。

出願する学部により次の教科・科目を指定します。日本留学試験の出題言語は日本語です。

学部	試験科目(必須)	試験科目(選択)
文学部 経済学部 経営学部 法学部	日本語	総合科目・数学(コース1)から どちらか1科目
教養学部		理科(2科目自由選択)・総合科目・ 数学(コース1)からどれか1科目
工学部	日本語、理科(物理・化学)、数学(コース2)	

(3) 入学までに「出入国管理および難民認定法」の「留学」に定める在留資格に変更する方

選抜方法

【文・経済・経営・法・教養学部】書類審査、英語、日本語による小論文、面接

【工学部】書類審査、英語、日本語による小テスト、面接

【文・経済・経営・法・教養学部】

【工学部】

試験科目	書類審査	英語	小論文	面接	合計	試験科目	書類審査・小テスト	英語	面接	合計
配点	50	100	100	100	350	配点	200	100	100	400

試験日程

	出願期間	試験日	試験場
日程	1月10日(火)～1月18日(水) 9:00～17:00(最終日は15:00まで)	2月3日(金)	土橋キャンパス

入学検定料

33,000円

合格発表

2012年(平成24年)2月11日(土)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、10時30分には合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

手続方法については、全て一般入学試験前期日程の入学手続方法に準じます。18ページを参照してください。

社会人特別入学試験

募集定員

・学部・学科および募集定員(1 ページ)を参照してください。

出願資格

【文学部英文学科(夜間主コース・給付奨学金付)】

(1)次のいずれかに該当し、かつ(2)に該当する方です。

- ①平成 21 年 3 月以前に高等学校または中等教育学校を卒業した方および高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した方(職業の有無は問いません)
- ②平成 21 年 4 月以降に高等学校または中等教育学校を卒業した方および高等学校卒業程度認定試験に合格した方で、現在一定の職業を有する方
- ③平成 24 年 3 月定時制高等学校または通信制高等学校を卒業見込みの方で、現在一定の職業を有する方

(2)調査書の全体の評定平均値が 3.0 以上の方(ただし、平成 21 年 3 月以前に高等学校または中等教育学校を卒業した方にはこの制限は適用しません)

【文学部総合人文学科、経済学部、経営学部、法学部、工学部、教養学部の各学科】

次に該当する方です。

平成 21 年 3 月以前に高等学校または中等教育学校を卒業した方および高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した方

選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に選抜します。

試験科目	小論文	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

(1)小論文

与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。

(60 分 / 800 字程度)

(2)面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(20 分程度)



(1)前年度の小論文の問題は 24、25 ページに掲載しています。

評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。

(2)面接では、志望動機、勉強意欲、将来についての考え等を聞かれます。言動・態度等も併せて評価のポイントになります。

試験日程

	出願期間	試験日	試験場	実施学部(学科)
A 日程	10月 24 日(月)～10月 28 日(金) 15 時まで郵送必着	11 月 8 日(火)	泉キャンパス	文(英文学科夜間主)
B 日程	2 月 17 日(金)～2 月 23 日(木) 15 時まで郵送必着	3 月 5 日(月)	土橋キャンパス	文(英文学科夜間主、総合人文学科) 経済、経営、法、工、教養

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000 円

合格発表

A 日程 平成 23 年 11 月 18 日(金)

B 日程 平成 24 年 3 月 13 日(火)

合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、14 時には可否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で可否を確認することができます。

入学手続

A 日程 平成 23 年 12 月 9 日(金) } 15 時まで郵送必着または窓口受付とします。
B 日程 平成 24 年 3 月 23 日(金)

入学手続きは、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

一般入学試験

募集定員

・学部・学科および募集定員(1 ページ)を参照してください。

出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成 24 年 3 月卒業見込みの方
- ②通常の課程による 12 年の学校教育を修了した方または平成 24 年 3 月修了見込みの方
- ③学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方または平成 24 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの方

選抜方法

〔前期日程〕3 科目の合計点と書類審査で選抜します。

〔後期日程〕2 科目の合計点と書類審査で選抜します。

※文学部英文学科(前期日程・後期日程)と教養学部言語文化学科(前期日程)では、英語の得点が 30 点未満の場合には合格できません。

出願期間

〔前期日程〕平成 24 年 1 月 10 日(火)～1 月 18 日(水)
 〔後期日程〕平成 24 年 2 月 17 日(金)～2 月 23 日(木) } 15 時まで郵送必着です。
 ※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

試験日・試験場・試験時間

	試験日	学部・学科(コース)	試験場	地区試験場	試験時間	
前期日程	全学部型	2月1日(水)	全学部 全学科(コース)	土樋キャンパス	※札幌 ※旭川 ※帯広 青森 八戸 秋田 盛岡 山形 鶴岡 郡山 東京	10:30～11:30 英語 12:15～14:30 2科目
	学科分割型	2月2日(木)	英文学科(昼間主コース) 共生社会経済学科 経営学科 法律学科 機械知能工学科 電子工学科 人間科学科 情報科学科			
		2月3日(金)	英文学科(夜間主コース) 総合人文学科 歴史学科 経済学科 電気情報工学科 環境建設工学科 言語文化学科 地域構想学科			
後期日程	3月6日(火)	全学部 全学科(コース)	土樋キャンパス	なし	10:30～13:00 2科目	

出願上の注意



〔前期日程〕は3日間で、全学部型試験日と学科分割型試験日に分かれています。

全学部型試験日(2月1日)は、全学部全学科から1つを選んで受験することができます。

学科分割型試験日(2月2日、3日)は、それぞれの日に指定されている学部学科の中から1つを選んで受験することができます。2日間、3日間と受験する方は、それぞれに出願する必要があります。

〔後期日程〕で文学部(英文学科、総合人文学科、歴史学科)と工学部(機械知能工学科、電気情報工学科、電子工学科、環境建設工学科)を志願する際、第二志望を選択することができます。(32 ページ参照)

試験科目・配点

〈前期日程〉(試験科目は3科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点
文学部 英文学科 (昼間主・夜間主コース) 総合人文学科 歴史学科 教養学部 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科	英語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	必須(100点)
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)	どれか 1科目のみ 選択できる
	政治・経済	政治・経済	
	日本史	日本史B	
	世界史	世界史B	
	地理	地理B	どちらか 1科目のみ 選択できる
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択	
	物理	物理Ⅰ・物理Ⅱ	どちらか 1科目のみ 選択できる
化学	化学Ⅰ・化学Ⅱ		
経済学部 経済学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科	英語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	必須(100点)
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)	どちらか 1科目のみ 選択できる
	政治・経済	政治・経済	
	商業	商品と流通・マーケティング	
	日本史	日本史B	
	世界史	世界史B	どれか 1科目のみ 選択できる
	地理	地理B	
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択	どちらか 1科目のみ 選択できる
簿記・会計	簿記・会計		
工学部 機械知能工学科 電気情報工学科 電子工学科 環境建設工学科	英語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	必須(各100点)
	数学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から2題(必須)、 数学Ⅱ・数学Bと数学Ⅲより2題から1題選択	
	物理	物理Ⅰ・物理Ⅱ	1科目選択(100点)
	化学	化学Ⅰ・化学Ⅱ	

〈後期日程〉(試験科目は2科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点
文学部 英文学科 (昼間主・夜間主コース) 総合人文学科 歴史学科 経済学部 経済学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 教養学部 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科	英語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	〈英文学科〉 「英語」が必須(100点) 左の残り11科目から「商業」と「簿記・会計」、「物理」と「化学」を除く7科目中1科目選択(100点)
	小論文		
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)	
	政治・経済	政治・経済	
	商業	商品と流通・マーケティング	〈総合人文学科・歴史学科〉 左の12科目から「商業」と「簿記・会計」、「物理」と「化学」を除く8科目中2科目選択(各100点) ただし、1科目は日本史、世界史、地理から選択必須(2科目選択も可)
	日本史	日本史B	
	世界史	世界史B	〈経済学部・経営学部・法学部・人間科学科・言語文化学科・地域構想学科〉 左の12科目から「物理」と「化学」を除く10科目中2科目選択(各100点)
	地理	地理B	
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択	
	簿記・会計	簿記・会計	
物理	物理Ⅰ・物理Ⅱ	どちらか 1科目のみ 選択できる	
化学	化学Ⅰ・化学Ⅱ		
工学部 機械知能工学科 電気情報工学科 電子工学科 環境建設工学科	数学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から2題(必須)、 数学Ⅱ・数学Bと数学Ⅲより2題から1題選択	必須(200点)
	英語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング	1科目選択(100点)
	物理	物理Ⅰ・物理Ⅱ	
	化学	化学Ⅰ・化学Ⅱ	

【注意】

- 前期日程、後期日程とも数学Bからは「統計とコンピュータ」「数値計算とコンピュータ」を除きます。
工学部・情報科学科の物理Ⅱからは「物質と原子」の「原子、電子と物質の性質」、および「原子と原子核」、化学Ⅱからは「生活と物質」「生命と物質」を除きます。
簿記・会計は「簿記」、および「会計」を総合した出題範囲とし、「会計」については会計の基礎を出題します。
- 国語と物理・化学はマークシート方式と記述方式の併用で行います。英語はマークシート方式、その他の科目は記述方式で行います。
- 英語のリスニングは、前期日程・後期日程とも行いません。

入学検定料

33,000円

合格発表

〔前期日程〕平成24年2月11日(土) 10時

〔後期日程〕平成24年3月13日(火) 14時

10時(後期日程は14時)に合格者受験番号を大学内(土樋キャンパス)に掲示するとともに、合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

また、10時30分(後期日程は14時30分)からは合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。詳細は合格通知に同封される「入学手続要項」をご確認ください。

〔前期日程〕手続き方法には、『全納』と『分納』の2つの方法があり、どちらかを選ぶことができます。また、『分納』による手続きをする方では、他大学等の受験をする方のために、『延納』制度があります。

手続日 手続方法	2月23日(木) 15時まで	3月8日(木) 15時まで	3月23日(金) 15時まで
全納	・入学時納付金の全額納入 ・指定書類の提出	-	-
分納	・入学金のみ納入 ・指定書類の提出	・残りの納付金の納入 ・指定書類の提出	-
延納	・入学金のみ納入 ・指定書類の提出	・「延納願」の提出※	・残りの納付金の納入 ・指定書類の提出

※「延納願」を提出できるのは、3月8日(木)以降に合格発表のある大学等(本学後期日程含む)を受験する方だけです。

〔後期日程〕3月23日(金)15時までに入学時納付金の全額を納入し、指定書類を提出します。

- 〔注意〕
- ①合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学の意志がないものとみなします。
 - ②他大学を受験する場合には、かならず「分納」や「延納」を利用してください。
 - ③入学手続きを完了された方で、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する方には、平成24年3月30日(金)17時までに入学辞退手続きと学納金返還手続きを行えば、辞退を認め入学金を除く入学時納付金を返還します。

入学時特待生制度**入学時特待生制度**(参考：昨年度23名)

成績優秀な新生に授業料半額相当額を給付する制度です。(返済の必要はありません)

特待生の選考方法

一般入試前期日程に上位の成績で合格し、全納または分納第一次手続きを完了した方が特待生選考の対象となります。選考の結果、特待生候補となった方には、候補者であることを本人に文書でお知らせします。

2年生以降の継続(参考：昨年度91名)

学業成績が一定の基準を満たせば、引き続き特待生になることができます。

大学入試センター試験利用入学試験

募集定員

・学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

- (1)次のいずれかに該当し、かつ(2)に該当する方です。
- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方または平成24年3月修了見込みの方
 - ③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方または平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの方
- (2)平成24年度大学入試センター試験を受験した方
(前年度の「大学入試センター試験」の成績は利用できません。)

選抜方法

本学各学科の指定した教科・科目の大学入試センター試験の結果および出願書類により総合的に選抜します。本学独自の個別学力検査は行いません。

試験日程

	出願期間	試験日
前期	1月10日(火)～1月18日(水) 15時まで郵送必着	(大学入試センター試験日)
後期	2月17日(金)～2月23日(木) 15時まで郵送必着	1月14日(土)・15日(日)

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

15,000円

合格発表

[前期]平成24年2月11日(土) 10時
[後期]平成24年3月13日(火) 14時
10時(後期は14時)に合格者受験番号を大学内(土樋キャンパス)に掲示するとともに、合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。
また、10時30分(後期は14時30分)からは合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます。

入学手続

入学手続きは、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。
手続方法・手続日については、「一般入学試験」に準じます。18ページを参照してください。

- [注意]
- ①合格通知書に記載された入学手続き期日までに手続きをしない場合は、入学の意志がないものとみなします。
 - ②他大学を受験する場合には、かならず「分納」や「延納」を利用してください。
 - ③入学手続きを完了された方で、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する方には、平成24年3月30日(金)17時までに入学金返還手続きと学納金返還手続きを行えば、辞退を認め入学金を除く入学時納付金を返還します。

試験科目・配点

〈前期〉

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
英 文 学 科 (昼間主・夜間主)	国 語	『国語』	4教科から 2科目選択	○3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。 ○『地理歴史・公民』『数学』『理 科』については2科目使用 も可能。	200点 (各100点)	合計 450点
	地理歴史・ 公 民	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫 理、政治経済』				
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』				
	理 科	『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』『生物Ⅰ』				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含む)	必 須		250点	
総合人文学科	国 語	『国語』	4教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験し た場合は高得点の科目を合 否判定に使用する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	『世界史B』『日本史B』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫 理、政治経済』から1科目				
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』から1科目				
	理 科	『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』『生物Ⅰ』から1科目				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含まず)	必 須		200点	
歴史学科	国 語	『国語』	3教科から 2科目選択	○3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。 ○『地理歴史・公民』につい ては2科目使用も可能。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	『世界史B』『日本史B』『地理B』『政治・経済』				
	数 学	『数学Ⅱ・数学B』				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含まず)	必 須		200点	
法 律 学 科 共 生 社 会 学 科 経 済 学 科	国 語	『国語』	3教科から 2科目選択	○3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。 ○『地理歴史・公民』『数学』『理 科』については2科目使用 も可能。	200点 (各100点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』 『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』				
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』 『生物Ⅰ』				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含まず)	必 須		200点	
経営学科	国 語	『国語』	4教科から 2科目選択	○3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。 ○『地理歴史・公民』『数学』『理 科』については2科目使用 も可能。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』 『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』				
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』 『生物Ⅰ』				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含まず)	必 須		200点	
電 子 工 学 科 機 械 知 能 工 学 科	国 語	『国語』(近代以降の文章)	必 須		100点	合計 750点
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『情報関係基礎』から1科目	必 須		100点	
	理 科	『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』から1科目	1科目選択		100点	
	外国語	『英語』(リスニングテストを含む)	必 須		250点	
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『情報関係基礎』から1科目	1科目選択		100点	
環 境 建 設 工 学 科	理 科	『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『生物Ⅰ』から1科目	1科目選択	○2科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。	200点	合計 650点
	外国語	『英語』(リスニングテストを含む)	必 須		250点	
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『情報関係基礎』から1科目	1科目選択		100点	
	理 科	『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『生物Ⅰ』から1科目	1科目選択		100点	
人 間 科 学 科	国 語	『国語』	4教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験し た場合は高得点の科目を合 否判定に使用する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』から1科目				
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』 『生物Ⅰ』から1科目				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含まず)	必 須		200点	
言 語 文 化 学 科	国 語	『国語』	4教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験し た場合は高得点の科目を合 否判定に使用する。	400点 (各200点)	合計 650点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』から1科目				
	数 学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理Ⅰ』『化学Ⅰ』『地学Ⅰ』 『生物Ⅰ』から1科目				
	外国語	『英語』(リスニングテストを含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』 『韓国語』から1科目	1科目選択		250点	

学 科	試 験 教 科・科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
情報科学科	国 語	『国語』（近代以降の文章）	3教科から 1教科 1科目選択	○2科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。	200点	合計 600 点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』から1科目				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理I』『化学I』『地学I』 『生物I』から1科目				
	数 学	『数学I』『数学I・数学A』『数学II』『数学II・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目				
外 国 語	『英語』（リスニングテストを含まず）『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』から1科目	1科目選択		200点		
地域構想学科	国 語	『国語』	4教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験し た場合は高得点の科目を合 否判定に使用する。	400点 (各200点)	合計 600 点
	地理歴史・ 公 民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治経済』から1科目				
	数 学	『数学I』『数学I・数学A』『数学II』『数学II・数学B』 『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目				
	理 科	『理科総合A』『理科総合B』『物理I』『化学I』『地学I』 『生物I』から1科目				
外 国 語	『英語』（リスニングテストを含まず）『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』から1科目	1科目選択		200点		

- (注意) 1. 本学の個別学力検査は行わない。
2. 総合人文学科・歴史学科・経営学科・人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科の選択科目のうちセンター試験100点満点の科目は200点満点に換算する。
3. 英文学科(昼間主・夜間主)の『国語』（センター試験200点満点）は100点満点に換算する。
4. 機械知能工学科・電気情報工学科・電子工学科・環境建設工学科の『理科』（センター試験100点満点）は200点満点に換算する。
5. 言語文化学科の『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』（センター試験各200点満点）は250点満点に換算する。

〈後期〉

学 科	試 験 教 科・科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
英総経 文合 学人史 科史 備営 主学 主学 主科 主科 主科 主科	前期と同じ					
経法 済律 学学 科科	前期と同じ					
電機電子 機械情報 知能工学 工学科	数 学	『数学I・数学A』 『数学II・数学B』『工業数理基礎』『情報関係基礎』から1科目	必 須 1科目選択		100点 100点	合計 300 点
	理 科	『物理I』『化学I』から1科目	2教科から 1科目選択	○2科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。	100点	
	外 国 語	『英語』（リスニングテストを含まず）				
環 境 建 設 工 学 学 科	数 学	『数学I・数学A』 『数学II・数学B』『工業数理基礎』『情報関係基礎』から1科目	必 須 1科目選択		100点 100点	合計 300 点
	理 科	『物理I』『化学I』『生物I』から1科目	2教科から 1科目選択	○2科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に 使用する。	100点	
	外 国 語	『英語』（リスニングテストを含まず）				
人高情地 間語文報 科学文化 学科学学 科学科 科学科	前期と同じ					

- (注意) 1. 本学の個別学力検査は行わない。
2. 総合人文学科・歴史学科・経営学科・人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科の選択科目のうちセンター試験100点満点の科目は200点満点に換算する。
3. 英文学科(昼間主・夜間主)の『国語』（センター試験200点満点）は100点満点に換算する。
4. 機械知能工学科・電気情報工学科・電子工学科・環境建設工学科の外国語『英語』（リスニングテスト含まず）（センター試験200点満点）は100点満点に換算する。
5. 言語文化学科の『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』（センター試験各200点満点）は250点満点に換算する。

編入学試験

募集定員

文学部	英文学科(昼間主コース)	16名	工学部	機械知能工学科	6名
	英文学科(夜間主コース)	5名		電気情報工学科	6名
	キリスト教学科	2名		電子工学科	5名
	歴史学科	6名		環境建設工学科	5名
経済学部	経済学科	18名	教養学部	人間科学科	5名
	共生社会経済学科	9名		言語文化学科	5名
経営学部	経営学科	17名		情報科学科	5名
法学部	法律学科	12名		地域構想学科	5名

※定員数はA日程とB日程の合計です。

出願資格

〔本学では3年次編入以外は行いません。〕

次のいずれかに該当する方です。

- ①短期大学を卒業した方または平成24年3月に卒業見込みの方
- ②高等専門学校を卒業した方または平成24年3月卒業見込みの方
- ③本学以外の大学に2年以上在学し(平成24年3月までに2年以上在学となる場合を含む)、62単位以上(教職・学芸員等の資格に関する科目を除く)を修得した方または平成24年3月修得見込みの方
- ④学士の学位を有する方または平成24年3月取得見込みの方
- ⑤専修学校の専門課程を修了した方または平成24年3月修了見込みの方で、文部科学大臣の定めるところにより大学への編入学の資格を認められた方または平成24年3月取得見込みの方

【注意】

- (1)上記①～⑤の卒業見込み(または修得・取得見込み)による出願資格で受験し、合格して入学手続きを完了した場合であっても、結果として出願資格が満たされなかった場合は、合格は取り消され、入学手続きは無効となります。
- (2)編入学には一般編入学のほか、A日程で「推薦による編入学」、A・B日程で「社会人の編入学」、B日程で「外国人の編入学」の制度があります。詳細については入試課に問い合わせのうえ、募集要項を取り寄せて確認してください。

選抜方法

出願書類の審査、英語、小論文(工学部は小テスト)、面接により総合的に選抜します。ただし、「推薦による編入学」と「社会人の編入学」には英語の試験を課しません。

「一般編入学」・「外国人の編入学」

試験科目	英語	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	100(英文学科は200)	200(英文学科は100)	100	400

「推薦による編入学」・「社会人の編入学」

試験科目	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

- (1)英語 全てマークシート方式(60分/40問)
- (2)小論文 【文・経済・経営・法・教養学部】
与えられた文章の要旨をまとめ、それに対する自分の意見を論述したり、与えられたテーマについての自分の考えを論述したりします。(60分/800字程度)
小テスト【工学部】
数学・物理・化学の基礎的問題数問を解答します。(60分/4～5問程度)
- (3)面接 面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)



- (1)推薦編入学への出願が認められるのは、本学の学科内容と同系統を学ぶ短大・高専・専門学校で優秀な成績を修めた方にかぎられます。希望される場合は現在所属の学校の編入担当者(部局)を通して、具体的な推薦条件について8月末までに入試課に確認してください。
- (2)前年度の編入学小論文の問題は、資料や募集要項請求の際に一緒に請求してください。評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。
- (3)面接では、志望動機、勉学意欲、将来についての考え等を聞かれます。言動・態度等も併せて評価のポイントになります。

試験日程

	出願期間	試験日	試験場
A日程	9月28日(水)～10月4日(火) 15時まで郵送必着	10月13日(木)	土樋キャンパス
B日程	2月17日(金)～2月23日(木) 15時まで郵送必着	3月5日(月)	

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

入学検定料

33,000円

合格発表

A日程 平成23年10月21日(金)

B日程 平成24年3月13日(火)

14時に合格者受験番号を大学内(土樋キャンパス)に掲示するとともに、合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。

入学手続

A日程 平成23年11月11日(金)

B日程 平成24年3月23日(金)

} 15時まで郵送必着または窓口受付とします。

2011年度 推薦入試・AO入試・特別入試 小論文問題

(文・経済・経営・法・教養学部)

●推薦入学試験・AO入学試験 A 日程・社会人特別入学試験 A 日程

次の文章を読んで、(1)と(2)に答えよ。

(1)著者の主張の要点を100字以内で述べよ。

(2)私たちの直接のコミュニケーションは、目と目、顔と顔を突き合わせて、互いの挨拶、礼儀、配慮といった種々な対応から成り立っている。これに対し、著者は「若い子はみんな、半分非現実の世界に生きている」と述べ「周囲に対する気遣いが消えた」と述べている。あなたはこの現実をどのように認識し評価しているのか、その意見を700字以内で述べよ。

クリフォード・ストールは、インターネットが求めているのは「僕らの現実の時間を捧げることなのだ」と言い、「コンピュータネットワークは、僕ら個人個人を孤立させ、僕らに実体験を見くびらせ、僕らの読み書き能力を低下させ、僕らの学校や図書館の存在を危うくする」と言った。

ハワード・ラインゴールドは、「携帯電話に話しかける代わりにそれにじっと見入っている姿」を見て、「技術が私の生活を自分自身には想像もつかない仕方に変えようとしていること」を再度感じた。

そして私は、せっかく集まっている若い子たちがバラバラに携帯に見入っている光景を見て、即座に、混んだ電車のなかでウォークマンに聞き入る若者が、そこにいるけど心は音楽空間のなかにいる、と感じたことを思い出した。

これらの体験は結局、ストールの、インターネットというこの非現実の世界は、「僕ら個人個人を孤立させ、僕らに実体験を見くびらせ」、さらにIT技術がわれわれの生活を想像もつかないほどに変えようとしている、ということに収斂していく。

(中略)

そしてある日、何もかもが変わってしまったことに気づくのだ。たとえば、女子アナの声のキーが高くなり、テンポが速くなったことに。満員電車で後ろの人などお構いなしに平然とリュックを背負っていたり、雑踏でキャリーバッグを引きずり人とぶつかっても知らぬ顔をして行ってしまったり。そして、みなパソコンやケータイに「現実の時間を捧げ」てやたらと忙しくなったことに。

みな、とくに若い子はみんな、半分非現実の世界に生きている。そして現実の世界では、周囲に対する気遣いが消え、生活時間争奪戦の圧倒的勝ち組であるインターネットに追い立てられて、時間のゆとりがなくなってしまうている。

そして「みんな忙しくなった」のである。

(佐野山寛太「追悼「広告」の時代」洋泉社新書)

●AO入学試験 B 日程

次の文章を読んで、(1)と(2)に答えよ。

(1)本文の内容を100字以内にまとめよ。

(2)大学は社会に巣立つための予備校であり、就職に役立つ資格を得るための中間的な教育制度だという認識が一方であり、他方で「そうではない」と考える、この認識に対する批判もある。著者の頭にこびりついていた「父の言葉」を、あなたは大学に入った時どのように考え理解することができるのか、あなたの意見を700字以内で述べよ。

最近の若い世代に特権意識が広まっていることについては、以前から広く語られている。僕も教室で実際に目撃してきた。

卒業を控えた学生の多くは、自分の卓越した独創力が評価されて就職できるはずだと思っている。そしてあまりに多くの学生が、底辺から始めることに不満を感じている。

そんなとき、僕はいつもこう助言する。「郵便を仕分けする仕事に決まっても、心から喜ぶべきだ。仕分け室に行ったら、やるべきことはひとつ。郵便の仕分けの達人になることだ」

「郵便の仕分けは自分の能力に値しない仕事だから、うまくできません」という言い訳は、だれも聞きたくない。自分に値しない仕事などない。郵便を仕分けできない(しようとしない)なら、ほかの仕事ができるという証拠がどこにあるのか。

僕は15歳のとき、イチゴ農園で畑を耕す仕事をした。一緒に働いている大半は日雇い労働者だったが、夏休みに小遣い稼ぎをする教師も2、3人いた。僕は父に、農園の仕事はあの教師たちに値しないという意味のことを言った(自分にも値しないとほめかしていたのだろう)。

父はめっちゃくちゃに怒った。肉体労働はだれにとっても、「値しない」仕事などではないと思っていたからだ。又は僕に、デスクでふんぞり返るエリート主義者になって漫然と生きていくより、必死に働いて最高の肉体労働者になってほしいくらいだと言った。

イチゴ農園の仕事はつづけたが、好きにはなれなかった。でも、父の言葉が頭にこびりついていた僕は、自分の態度に気をつけて、前より少し一生懸命に耕した。

(ランディ・パウシュ「最後の授業」ランダムハウス講談社より一部変更)

● 社会人特別入学試験 B 日程

以下の文章を読み、次の問いに答えよ。

問1. 本文の内容を100字以内にまとめよ。

問2. 国が強制的に税金を集めて行う社会福祉により初めて生き延びられる人は数多くいる。このことを考えるとき、あなたは筆者の主張についてどのような意見を述べることができるか。あなたの意見を700字以内で述べよ。

国家には、その集団的な意思に従わないものに対して、物理的な強制力を持って従わせるという正当性が与えられています。現在の福祉国家のおこなっているような慈善的な活動は、そもそも強制力を使ってまで、嫌がる人から税金を徴収してなすべきことなのではないでしょうか。

社会にホームレスが多すぎると考えるのなら、そう思う人が自らの責任と資源の拠出において、ホームレスの救済をおこなうべきです。自分の金をどれだけ支払う覚悟があるのかを反省してほしいのです。あるいは、その政策を実行するためにどれだけの労働を自らが提供する気があるのでしょうか。直接的に自らがボランティアとして働くことでもいいのです。社会福祉のような本来的に道徳的な行為は、国家のような強制機関によってなされるべきではありません。それは純粋に個人的な人間の博愛や慈善、ボランティアによってなされるべきものです。

日本では、所得税に関してはながらく高度の累進課税が課せられていました。戦後の長い間、国と地方を合わせて最高90%に及ぶ税率を課してきたのですから驚きです。

公園で自分の子どもが持っていない遊び道具を他人の子どもがもっていて、それを欲しがった時、「あの子だけがもっているのは不公平だから、とりあげて遊ばさい」とはいわないでしょう。しかし、政府による所得の再配分とは、大人がみんなで寄り集まって「議会」をつくり、多数決をとり、強制的に誰かが持っているものを暴力を使ってとりあげるということなのです。これは道徳的に考えてみれば、とうていフェアな行為とはいえないと思います。

人がすばらしい価値だと思うものがあるのなら、それがなんであれ、自分のもっている私有財産を投じてそれを支援するべきです。「自分の価値を社会に押し付けるために、誰か他人のポケットからお金を取り出そうなどとゆめゆめおもうことなかれ」というのが健全な道徳というものではないでしょうか。

(蔵 研也「リバタリアン宣言」より)

2011年度 推薦入試・AO入試 小論文問題 (工学部)

● 推薦入学試験・AO入学試験 A 日程

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「現在、私たちの身の周りには非常にたくさんの工業製品があふれています。自分が使用している製品で、もっと使いやすくなるにはどうすればよいかを1つ具体的に例をあげて述べなさい。」

電気情報工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「最近の電気あるいは情報に関する話題の中で、あなたが最も興味を持ったものについて意見を述べてください。」

電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「最近、3D映像技術がゲームやテレビの画像等に実用化されています。今後、3D映像技術が私たちの生活にどのようにかわってくるか、あなたの考えを述べなさい。」

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「近年、“持続可能な社会”という言葉が、良く使われます。環境建設の分野で、“持続可能な社会”を実現するために、今後取り組むべきことを、あなたの意見として述べなさい。」

● AO入学試験 B 日程

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「あなたは将来どのようなエンジニアになりたいかを示し、そのために大学で何をどう学ぼうとしているのかについて述べなさい。」

電気情報工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「あなたは電気情報工学科でどのようなことを学び、将来どのような職業人になりたいのか、考えを述べてください。」

電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「最近の携帯電話は高機能化と多機能化が進行しています。私たちの生活を豊かにするために、近未来の携帯電話にどんな進化を期待しますか。あなたの夢を述べなさい。」

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えよ。

「地震あるいは集中豪雨による最近の被災例について、あなたの知るところを記し、意見を述べなさい。」

2011年度 入学試験結果

学校教育法施行規則に基づく情報公開は、本学ホームページ「基本情報」(法令に基づく情報公開)に掲載しています。

2011年度 入学試験結果

● AO 入学試験結果

()内は女子内数

学部・学科	日程	定員	第一次選抜						第二次選抜												
			出願者	評 価					評 価 A			評 価 B			評 価 C			評価 ABC の合計数			
				A	B	C	D	辞退	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	
文 学 部	英文学科(昼間主)	A 日程	30	(55) 78	(-) 2	(27) 35	(27) 39	(1) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(25) 33	(25) 33	(25) 33	(17) 25	(17) 25	(15) 19	(42) 60	(42) 60	(40) 54	
		B 日程	5	(2) 5	(1) 1	(1) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(2) 4	(2) 4	(2) 4	
	英文学科(夜間主)	A 日程	2	(1) 3	(-) 1	(1) 2	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 2	(1) 2	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 2	(1) 2	(1) 2	
		B 日程	1	(1) 1	(-) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	総合人文学科	A 日程	4	(10) 16	(-) 16	(8) 12	(2) 4	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(8) 12	(8) 12	(8) 12	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(9) 14	(9) 14	(9) 13	
		B 日程	1	(0) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1	
歴史学科	A 日程	13	(33) 68	(2) 3	(5) 10	(25) 51	(1) 4	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(3) 8	(3) 8	(3) 8	(12) 25	(12) 25	(4) 7	(17) 36	(17) 36	(9) 18		
	B 日程	2	(2) 2	(-) 2	(-) 2	(2) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(1) 1	(1) 1	(-) 1	(1) 1	(1) 1	(0) 0		
経 済 学 部	経済学科	A 日程	30	(18) 84	(-) 84	(11) 25	(6) 52	(-) 6	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(10) 23	(10) 23	(10) 23	(5) 21	(5) 21	(4) 8	(15) 44	(15) 44	(14) 31	
		B 日程	2	(0) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(0) 2	(0) 2	(0) 1	
	共生社会経済学科	A 日程	25	(42) 91	(9) 9	(22) 32	(9) 46	(2) 4	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(19) 27	(19) 27	(19) 27	(3) 16	(3) 16	(2) 6	(31) 52	(31) 52	(30) 42	
		B 日程	3	(2) 10	(1) 1	(-) 1	(-) 6	(-) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 6	(1) 6	(1) 3
経営学部	経営学科	A 日程	23	(31) 62	(1) 1	(4) 4	(26) 51	(-) 6	(-) 1	(-) 1	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(16) 24	(16) 24	(12) 15	(19) 27	(19) 27	(15) 18		
		B 日程	2	(1) 5	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 3	(-) 1	(-) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 2	(1) 2	(1) 2
法 学 部	法律学科	A 日程	28	(15) 48	(1) 1	(1) 4	(9) 33	(3) 9	(1) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 4	(1) 4	(1) 4	(4) 16	(4) 16	(2) 7	(6) 21	(6) 21	(4) 12	
		B 日程	3	(0) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(-) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
工 学 部	機械知能工学科	A 日程	12	(0) 41	(-) 41	(-) 7	(-) 24	(-) 9	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 19	(-) 19	(-) 19	(-) 7	(-) 7	(-) 5	(0) 33	(0) 33	(0) 31	
		B 日程	2	(0) 4	(-) 4	(-) 1	(-) 2	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(-) 2	(0) 3	(0) 3	(0) 1
	電気情報工学科	A 日程	12	(0) 43	(-) 43	(-) 21	(-) 18	(-) 3	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 17	(-) 17	(-) 17	(-) 9	(-) 9	(-) 6	(0) 26	(0) 26	(0) 23	
		B 日程	2	(1) 5	(-) 5	(-) 4	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 5	(1) 5	(1) 5
	電子工学科	A 日程	8	(3) 21	(2) 4	(1) 16	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 11	(-) 11	(-) 11	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(2) 15	(2) 15	(2) 15
		B 日程	2	(0) 6	(-) 6	(-) 3	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(0) 6	(0) 6	(0) 6
環境建設工学科	A 日程	8	(0) 25	(-) 25	(-) 7	(-) 15	(-) 2	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 12	(-) 12	(-) 12	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(0) 18	(0) 18	(0) 18	
	B 日程	2	(0) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(0) 3	(0) 3	(0) 3	
教 養 学 部	人間科学科	A 日程	6	(14) 37	(-) 37	(5) 7	(9) 29	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(5) 7	(5) 7	(4) 6	(3) 7	(3) 7	(1) 1	(8) 15	(8) 15	(5) 8		
		B 日程	1	(2) 3	(1) 1	(-) 1	(1) 2	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(1) 2	(1) 2	(1) 1
	言語文化学科	A 日程	5	(27) 32	(-) 32	(-) 10	(9) 21	(17) 21	(-) 1	(1) 1	(-) 1	(-) 9	(-) 9	(-) 9	(10) 12	(10) 12	(4) 4	(18) 21	(18) 21	(12) 13	
		B 日程	1	(2) 4	(-) 4	(-) 4	(2) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(-) 2	(2) 2	(2) 2	(-) 2	(2) 2	(2) 2	(0) 0	
	情報科学科	A 日程	5	(6) 18	(1) 2	(2) 6	(3) 10	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(2) 5	(2) 5	(2) 5	(1) 2	(1) 2	(-) 1	(4) 9	(4) 9	(3) 7	
		B 日程	1	(0) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1
地域構想学科	A 日程	6	(15) 36	(-) 36	(13) 17	(2) 18	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(13) 17	(13) 17	(13) 17	(-) 7	(-) 7	(-) 2	(13) 25	(13) 25	(13) 20		
	B 日程	2	(2) 8	(-) 8	(2) 2	(-) 5	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(-) 1	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(-) 4	(-) 4	(-) 4	(2) 6	(2) 6	(2) 2		
A 日程合計		217	(270) 703	(16) 38	(109) 240	(135) 385	(7) 34	(3) 6	(16) 37	(16) 37	(16) 37	(97) 208	(97) 208	(96) 207	(72) 173	(72) 173	(45) 81	(185) 418	(185) 418	(157) 325	
B 日程合計		32	(15) 60	(3) 5	(6) 21	(5) 27	(0) 6	(1) 1	(3) 5	(3) 5	(3) 5	(6) 21	(6) 21	(6) 19	(3) 19	(3) 19	(0) 5	(12) 45	(12) 45	(9) 31	
総 合 計		249	(285) 763	(19) 43	(115) 261	(140) 412	(7) 40	(4) 7	(19) 42	(19) 42	(19) 42	(103) 229	(103) 229	(102) 228	(75) 192	(75) 192	(45) 86	(197) 463	(197) 463	(166) 356	

●推薦入学試験結果

()内は女子内数

学部・学科	推薦の種類	キリスト者等			学業成績			スポーツ			資格取得		
		定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数
文学部	英文学科(昼間主)	2	(2) 2	(2) 2	38	(28) 34	(28) 34	4	(3) 4	(3) 4	-		
	英文学科(夜間主)	1	(0) 0	(0) 0	4	(4) 8	(4) 8	1	(0) 0	(0) 0	-		
	総合人文学科	1	(0) 1	(0) 1	5	(4) 4	(4) 4	1	(0) 1	(0) 1	-		
	歴史学科	2	(2) 2	(2) 2	26	(19) 33	(19) 33	4	(2) 4	(2) 4	-		
経済学部	経済学科	4	(2) 2	(2) 2	60	(14) 79	(14) 79	32	(4) 33	(4) 32	-		
	共生社会経済学科	2	(1) 1	(1) 1	25	(10) 25	(10) 25	13	(4) 13	(4) 13	-		
経営学部	経営学科	3	(1) 1	(1) 1	40	(16) 47	(16) 47	20	(4) 21	(3) 20	25	(11) 24	(11) 24
法学部	法律学科	3	(2) 2	(2) 2	35	(17) 52	(17) 52	20	(2) 21	(2) 21	-		
工学部	機械知能工学科	2	(0) 1	(0) 1	26	(0) 44	(0) 44	2	(0) 1	(0) 1	-		
	電気情報工学科	2	(0) 0	(0) 0	26	(2) 42	(2) 42	2	(0) 2	(0) 2	-		
	電子工学科	2	(0) 0	(0) 0	22	(2) 36	(2) 36	2	(0) 0	(0) 0	-		
	環境建設工学科	2	(0) 0	(0) 0	22	(1) 32	(1) 32	2	(0) 1	(0) 1	-		
教養学部	人間科学科	2	(1) 2	(1) 2	16	(13) 22	(13) 22	7	(4) 9	(4) 7	-		
	言語文化学科	2	(2) 3	(2) 3	16	(15) 19	(15) 19	6	(5) 7	(4) 6	-		
	情報科学科	2	(2) 2	(2) 2	16	(5) 12	(5) 12	6	(1) 6	(1) 6	-		
	地域構想学科	2	(0) 1	(0) 1	15	(5) 11	(5) 11	7	(3) 7	(3) 7	-		

●特別入学試験結果

()内は女子内数

学部・学科	入試の種類	社会人A日程			社会人B日程			外国人留学生			帰国生		
		定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数	定員	受験者数	合格者数
文学部	英文学科(昼間主)	-			-			2	(0) 0	(0) 0	若干	(0) 0	-
	英文学科(夜間主)	3	(0) 1	(0) 1	2	(1) 2	(1) 2	-			〃	(0) 0	-
	総合人文学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	歴史学科	-			-			1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
経済学部	経済学科	-			5	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	共生社会経済学科	-			2	(0) 0	(0) 0	2	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
経営学部	経営学科	-			5	(0) 1	(0) 1	3	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
法学部	法律学科	-			2	(0) 0	(0) 0	2	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
工学部	機械知能工学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	電気情報工学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	電子工学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	環境建設工学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
教養学部	人間科学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	言語文化学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-
	情報科学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(1) 1	(1) 1	〃	(0) 0	-
	地域構想学科	-			1	(0) 0	(0) 0	1	(0) 0	(0) 0	〃	(0) 0	-

●一般入学試験結果

前期日程

学部・学科	全学部型						学科分割型						
	定員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	合格最低点(%)	定員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	合格最低点(%)	
文学部	英文学科(昼間主)	30	(112) 188	(110) 185	(52) 90	2.1	53.3%	55	(206) 317	(205) 314	(97) 144	2.2	53.0%
	英文学科(夜間主)	3	(2) 7	(2) 7	(2) 6	1.2	42.3%	4	(8) 30	(8) 27	(7) 22	1.2	40.7%
	総合人文学科	3	(20) 40	(20) 39	(6) 12	3.3	57.7%	4	(21) 44	(21) 43	(9) 14	3.1	57.3%
	歴史学科	25	(75) 179	(72) 176	(36) 77	2.3	54.0%	45	(145) 303	(144) 299	(65) 133	2.2	55.7%
	小計	61	(209) 414	(204) 407	(96) 185	2.2	-	108	(380) 694	(378) 683	(178) 313	2.2	-
経済学部	経済学科	80	(79) 414	(79) 411	(56) 253	1.6	49.0%	119	(219) 907	(218) 897	(153) 541	1.7	49.0%
	共生社会経済学科	25	(17) 60	(17) 60	(12) 45	1.3	44.0%	41	(44) 153	(44) 153	(40) 121	1.3	42.3%
	小計	105	(96) 474	(96) 471	(68) 298	1.6	-	160	(263) 1,060	(262) 1,050	(193) 662	1.6	-
経営学部	経営学科	40	(64) 230	(63) 229	(41) 136	1.7	50.0%	75	(154) 499	(151) 493	(98) 251	2.0	50.7%
法学部	法律学科	67	(86) 318	(86) 318	(53) 185	1.7	50.0%	100	(166) 524	(163) 518	(92) 284	1.8	50.0%
工学部	機械知能工学科	20	(3) 107	(3) 106	(2) 57	1.9	48.0%	26	(11) 121	(10) 119	(9) 66	1.8	48.0%
	電気情報工学科	20	(2) 115	(2) 113	(0) 55	2.1	50.7%	26	(7) 153	(7) 151	(5) 77	2.0	51.7%
	電子工学科	18	(3) 70	(3) 68	(3) 46	1.5	39.7%	20	(5) 104	(5) 102	(2) 70	1.5	41.0%
	環境建設工学科	18	(11) 53	(11) 53	(6) 39	1.4	38.3%	20	(15) 80	(15) 77	(13) 57	1.4	40.0%
	小計	76	(19) 345	(19) 340	(11) 197	1.7	-	92	(38) 458	(37) 449	(29) 270	1.7	-
教養学部	人間科学科	20	(96) 178	(94) 176	(42) 54	3.3	58.3%	25	(122) 238	(120) 236	(45) 67	3.5	58.0%
	言語文化学科	20	(70) 88	(69) 87	(31) 35	2.5	55.3%	25	(123) 177	(122) 176	(58) 79	2.2	55.3%
	情報科学科	20	(29) 152	(28) 149	(16) 60	2.5	53.7%	25	(47) 173	(46) 170	(17) 64	2.7	53.7%
	地域構想学科	20	(56) 113	(55) 110	(24) 44	2.5	54.7%	25	(85) 160	(85) 159	(39) 63	2.5	55.0%
	小計	80	(251) 531	(246) 522	(113) 193	2.7	-	100	(377) 748	(373) 741	(159) 273	2.7	-
合計	429	(725) 2,312	(714) 2,287	(382) 1,194	1.9	-	635	(1,378) 3,983	(1,364) 3,934	(749) 2,053	1.9	-	

後期日程

()内は女子内数
実質倍率：受験者数/合格者数

定員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	合格最低点(%)
8	(34) 60	(31) 55	(16) 25	2.2	52.5%
3	(3) 19	(3) 18	(2) 10	1.8	51.0%
2	(4) 13	(4) 13	(2) 5	2.6	64.0%
8	(24) 60	(24) 60	(6) 15	4.0	61.5%
21	(65) 152	(62) 146	(26) 55	2.7	-
8	(13) 98	(13) 95	(4) 19	5.0	62.5%
5	(3) 12	(3) 11	(3) 7	1.6	46.5%
13	(16) 110	(16) 106	(7) 26	4.1	-
15	(29) 121	(27) 115	(13) 49	2.3	54.0%
10	(18) 67	(17) 65	(10) 31	2.1	53.0%
4	(0) 14	(0) 14	(0) 8	1.8	45.0%
4	(3) 14	(1) 12	(0) 9	1.3	46.7%
3	(1) 21	(1) 21	(1) 13	1.6	46.3%
3	(2) 10	(2) 10	(2) 6	1.7	45.0%
14	(6) 59	(4) 57	(3) 36	1.6	-
4	(13) 30	(11) 27	(7) 10	2.7	52.0%
4	(15) 23	(15) 23	(8) 12	1.9	52.0%
4	(4) 30	(4) 29	(1) 14	2.1	54.0%
4	(17) 46	(16) 43	(4) 14	3.1	55.0%
16	(49) 129	(46) 122	(20) 50	2.4	-
89	(183) 638	(172) 611	(79) 247	2.5	-

【合格最低点についての注意】

- (1) 表の数字は、学力試験の満点に対する合格最低点のパーセントを示しています。
- (2) 前期日程は300点満点です。後期日程の文・経済・経営・法・教養学部は200点満点、工学部は300点満点です。
- (3) 合否判定において、得点はすべて偏差点化したものを用いています。
- (4) 合格最低点の高低については、同じ受験日の学科間でなければ単純な比較はできません。

●大学入試センター試験利用入学試験結果

前期

学部・学科	定員	志願者数	合格者数	実質倍率	合格最低点(%)	
文学部	英文学科(昼間主)	13	(147) 232	(86) 127	1.8	65.1%
	英文学科(夜間主)	3	(8) 26	(3) 13	2.0	49.8%
	総合人文学科	3	(32) 58	(8) 20	2.9	71.3%
	歴史学科	12	(94) 214	(52) 113	1.9	65.2%
	小計	31	(281) 530	(149) 273	1.9	-
経済学部	経済学科	20	(98) 362	(53) 169	2.1	62.8%
	共生社会経済学科	8	(22) 68	(18) 44	1.5	55.0%
	小計	28	(120) 430	(71) 213	2.0	-
学藝部	経営学科	20	(105) 326	(65) 166	2.0	63.0%
法学部	法律学科	15	(97) 278	(74) 181	1.5	60.0%
工学部	機械知能工学科	10	(11) 155	(7) 83	1.9	54.1%
	電気情報工学科	10	(11) 168	(8) 87	1.9	54.5%
	電子工学科	9	(10) 135	(8) 79	1.7	50.1%
	環境建設工学科	9	(33) 155	(23) 115	1.3	40.3%
	小計	38	(65) 613	(46) 364	1.7	-
教養学部	人間科学科	8	(88) 143	(46) 73	2.0	70.7%
	言語文化学科	8	(100) 138	(62) 83	1.7	69.5%
	情報科学科	8	(38) 161	(17) 76	2.1	65.2%
	地域構想学科	8	(53) 115	(28) 63	1.8	66.0%
	小計	32	(279) 557	(153) 295	1.9	-
合計	164	(947) 2,734	(558) 1,492	1.8	-	

【合格最低点についての注意】

- 表の数字は、学力試験の満点に対する合格最低点のパーセントを示しています。
- 前期は英文学科が450点満点、総合人文学科が400点満点、歴史・経済・共生・経営・法律・人間科学・情報科学・地域構想学科が600点満点、環境建設・言語文化学科が650点満点、機械知能工・電気情報工・電子工学科は750点満点です。後期は機械知能工・電気情報工・電子工・環境建設工学科が300点満点です。その他は前期と同じです。

後期

()内は女子内数
実質倍率：受験者/合格者

定員	志願者数	合格者数	実質倍率	合格最低点(%)
7	(10) 16	(6) 10	1.6	70.0%
2	(4) 10	(4) 7	1.4	52.7%
2	(4) 6	(3) 4	1.5	63.3%
3	(6) 14	(4) 10	1.4	67.7%
14	(24) 46	(17) 31	1.5	-
-				
2	(1) 3	(1) 3	1.0	58.3%
2	(1) 3	(1) 3	1.0	-
10	(17) 56	(17) 50	1.1	60.5%
10	(3) 10	(3) 10	1.0	76.3%
2	(2) 5	(2) 4	1.3	61.0%
2	(0) 7	(0) 5	1.4	59.7%
2	(0) 9	(0) 5	1.8	52.3%
2	(0) 6	(0) 5	1.2	47.3%
8	(2) 27	(2) 19	1.4	-
2	(2) 7	(2) 7	1.0	60.2%
2	(5) 6	(3) 4	1.5	61.2%
2	(1) 4	(1) 3	1.3	65.8%
2	(0) 3	(0) 2	1.5	65.2%
8	(8) 20	(6) 16	1.3	-
52	(55) 162	(46) 129	1.3	-

●編入学(推薦・一般 AB・社会人 AB・外国人)試験結果

()内は女子内数

学部・学科	定員	編入学試験(推薦)			編入学試験(一般 A)			編入学試験(一般 B)			編入学試験(社会人 A)			編入学試験(社会人 B)			編入学試験(外国人)			
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
文学部	英文学科(昼間主)	16	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(6) 8	(3) 8	(5) 9	(5) 9	(4) 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	英文学科(夜間主)	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キリスト教学科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経済学部	歴史学科	6	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(1) 2	(1) 2	(1) 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経済学科	18	-	-	-	(1) 6	(1) 6	(0) 2	(1) 1	(1) 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学藝部	経営学科	5	(1) 3	(1) 3	(0) 1	(2) 3	(2) 3	(0) 2	(0) 2	(0) 2	(0) 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法学部	法律学科	12	-	-	-	(1) 4	(1) 4	(1) 3	(0) 1	(0) 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工学部	機械知能工学科	6	-	-	-	(0) 1	(0) 1	(0) 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電気情報工学科	6	-	-	-	(0) 3	(0) 3	(0) 3	(0) 1	(0) 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電子工学科	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	環境建設工学科	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教養学部	人間科学科	5	-	-	-	-	-	(2) 3	(2) 3	(0) 1	-	-	-	(1) 1	(1) 1	(1) 1	-	-	-	-
	言語文化学科	5	-	-	-	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(1) 2	(1) 2	(1) 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	情報科学科	5	-	-	-	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 2	(0) 2	(0) 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域構想学科	5	-	-	-	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 1	(1) 1	(1) 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	115	(3) 5	(3) 5	(2) 3	(12) 31	(12) 31	(7) 18	(11) 26	(11) 26	(7) 17	-	-	-	(1) 1	(1) 1	(1) 1	-	-	-	

●都道府県別志願者・受験者・合格者・入学者[全体]

()内は女子内数

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数			
北海道	74 (15)	74 (15)	42 (6)	22 (4)	中国	鳥取	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
東北	青森	489 (169)	487 (169)	290 (93)		130 (43)	島根	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	岩手	799 (256)	791 (254)	471 (148)		202 (64)	岡山	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宮城	6,980 (2,277)	6,913 (2,258)	3,987 (1,385)		1,982 (686)	広島	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	秋田	570 (171)	561 (166)	299 (105)		121 (43)	山口	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	山形	1,009 (398)	995 (389)	572 (236)		226 (79)	小計	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	福島	953 (335)	943 (334)	568 (213)		259 (94)	四国	徳島	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計	10,800 (3,606)	10,690 (3,570)	6,187 (2,180)		2,920 (1,009)		香川	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	関東	茨城	35 (12)	34 (12)		9 (2)		8 (2)	愛媛	1 (0)	0 (0)	0 (0)
栃木		23 (7)	23 (7)	12 (2)		2 (0)		高知	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
群馬		7 (4)	7 (4)	4 (3)	2 (1)	小計	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
埼玉		13 (8)	13 (8)	8 (3)	4 (1)	九州	福岡	5 (3)	5 (3)	2 (1)	1 (1)	
千葉		8 (4)	8 (4)	2 (1)	0 (0)		佐賀	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東京		17 (5)	16 (5)	11 (3)	5 (2)		長崎	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
神奈川		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		熊本	4 (1)	4 (1)	3 (1)	2 (1)	
小計		104 (40)	102 (40)	47 (14)	22 (6)		大分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
中部	新潟	39 (16)	38 (15)	19 (8)	10 (5)		宮崎	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
	富山	3 (1)	3 (1)	1 (1)	0 (0)		鹿児島	6 (0)	6 (0)	2 (0)	2 (0)	
	石川	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)		小計	16 (4)	16 (4)	7 (2)	5 (2)	
	福井	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	沖縄	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	山梨	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	高卒認定	117 (38)	112 (36)	37 (7)	19 (5)		
	長野	6 (3)	6 (3)	3 (1)	2 (1)	外国の学校	2 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)		
	岐阜	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	指定	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	静岡	2 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	認定	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	愛知	8 (3)	8 (3)	2 (0)	2 (0)	在外教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計	60 (26)	59 (25)	28 (12)	15 (7)	専修学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
近畿	三重	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	合計	11,177 (3,730)	11,057 (3,691)	6,350 (2,222)	3,003 (1,033)		
	滋賀	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	京都	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	大阪	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)							
	兵庫	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	奈良	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	和歌山	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)							

2012年度入学試験を受験予定の皆さまへ

被災された受験生の皆さまに対する入学検定料の免除措置について

東日本大震災で被災された受験生ならびにご家族の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

東北学院大学では、下記の災害救助法適用地域で被災した受験生に対し、経済的な支援を図るため、申し出により入学検定料に対する免除措置を講じることに決定しました。

つきましては、該当する方で入学検定料の免除措置を希望される場合は、下記の所定の手続きが必要となりますので、入試課までお申し出ください。

1. 対象地域

災害救助法が適用されている県の該当市町村に居住している方。

2. 対象者

上記の災害救助法が適用されている地域で被災した受験生で、以下のいずれかに該当する方を対象とします。申請に基づき入学検定料を免除いたします。

- (1)主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合
- (2)主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊または流出した場合
- (3)主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した場合
- (4)主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合

3. 特別措置

2011年4月1日～2012年3月末日までに実施する2012年度入学試験の入学検定料を全額免除します。

4. 必要書類

- (1)本学所定用紙の「被災受験生特別措置申請書」(本学ホームページよりダウンロード可能)
- (2)市町村などが発行する「罹災証明書等」

5. 申請期限および審査結果通知

原則として、出願期間開始日までに必要書類を入試課へご提出ください。提出書類に基づき審査を行い、結果を申請書記載の本人連絡先に文書で送付します。

なお、必要書類等の準備が間に合わない場合は、必ず事前に入試課へご相談ください。

被災された入学予定者の皆さまに対する授業料減免の支援措置について

東日本大震災で被災された入学予定者の皆さまに対する支援措置(平成24年度入学予定者に限る)を以下のようにいたします。

1. 対象・授業料減免支援措置(申請手続きは入学手続き時に行います)

- (1)主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合
授業料1年分免除
 - (2)自宅が全壊または流出の場合
授業料後期分免除
 - (3)自宅が半壊の場合
授業料後期分を半額に減免
 - (4)主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合
授業料後期分を半額に減免
- ※(1)と(2)、(1)と(3)、(1)と(4)を併せて申請することはできません。

2. 申請書類

・授業料減免申請書、罹災証明書等

※上記授業料減免措置のほかにも入学後、被災学生を対象とした「東日本大震災緊急給付奨学金」を申請することができます。

お問い合わせ先
東北学院大学 入試課
TEL.022-264-6455 FAX.022-264-6377
E-mail:nyushi@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

●一般入試について

Q 一般入試前期日程の全学部型と学科分割型試験とは、どのようなことですか？

A 全学部型(2月1日)は、すべての学科で試験を実施します。学科分割型(2月2日、3日)は、16学科を二分して試験を実施します。

したがって、それぞれの日に指定された学科から1つを選んでそれぞれ出願し、受験することができます。3日間とも受験することができ、また同じ学科を全学部型と学科分割型から選んで2回受験することも可能です。

Q 一般入試前期日程の試験場は、住んでいる地域の都市以外を選ぶことはできますか？

A できます。住んでいる地域から遠くても、前後の日の都合によって、一番受験しやすい試験場を選択していただいてもかまいません。ただし、出願後の試験場変更はできませんのでご注意ください。

Q 出願期間前に入学検定料を振込んでも良いですか？

A 大丈夫です。出願期間に間に合うように振込みをしていただければ、出願期間前でも可能です。

Q 選択科目は試験会場で選べますか？

A 全ての学科において、試験が開始されて問題を見てからでも受験科目を選べます。出願時点では、選択科目を申請する必要がありません。

Q 受験した科目により有利・不利はありますか？

A ありません。
選択した科目によって有利・不利が生じないように、各科目の得点の偏差値を求め、その値で合否を決定しています。

Q 合否判定の際、調査書はどの程度評価されるのでしょうか？

A 本学では、学力試験に加えて、調査書を審査し、その総合評価で合否判定を行っています。しかし、総合評価といっても、学力試験の成績が大きな比重を占めていることは当然です。したがって、調査書だけによって不合格になることはありません。

Q 一般入試後期日程で文学部英文学科、歴史学科、総合人文学科と工学部を志願する際、第二志望のコースまたは学科を選択することができるというのは、どういう意味ですか？

A 英文学科で第二志望のコースを書いた場合、第一志望のコースには入学試験での得点が足りなく不合格でも、第二志望のコースの合格最低点があなただの得点より低い場合には、第二志望のコースに合格となります。

また、歴史学科と総合人文学科との間、工学部の4学科間で第二志望学科を書いた場合にも同様に、第一志望学科での得点が足りなくても第二志望の学科の合格最低点があなただの得点より低い場合には、第二志望の学科に合格となります。

どちらの場合も、出願時に第二志望を記入しなければ、その対象にはなりません。

Q 入試問題集(過去問題)を発行していますか？

A 一般入試問題集(正答および正答例付)を一定部数製作し、35ページ掲載の各地での進学相談会場やオープンキャンパスの際に、ご希望の方に差し上げています。

なお、本学ホームページの受験生応援サイト「Step! TG」からも請求できます。

●センター試験利用入試について

Q センター試験利用入試で、複数学科の併願ができますか。また、一般入試との併願はできますか？

A センター試験利用入試では前期も後期も複数学科を併願することができます。

また、センター試験利用入試と一般入試との併願もできます。併願する場合は、それぞれに出願書類と検定料が必要となります。

Q 一般入試前期日程やセンター試験利用入試前期で、ある学科に合格しましたが、一般入試後期日程やセンター試験利用入試後期を受験することができますか。また、入学手続きはどのようになりますか？

A どちらも受験できます。さらに一般入試前期日程やセンター試験利用入試前期で合格し、第一次手続きを完了して延納願いを提出している方、または全納手続きを完了している方が、一般入試後期日程やセンター試験利用入試後期で合格した場合、本人の申し出により、一般入試前期日程またはセンター利用入試前期分の入学金または入学時納付金を一般入試後期日程またはセンター利用入試後期で合格した学科へ振り替える手続きをすることができます。

●合格発表について

Q 大学から合否の通知はあるのでしょうか？

A 本学では不合格通知は行っていません。合格者には発表日当日の消印で合格通知書と入学手続要項を速達で郵送します。一般入試、センター試験利用入試、推薦入試、AO入試、帰国生特別入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試については、合格発表日に合否照会システムを利用して、電話、パソコン、携帯電話で合否を確認することができます(各募集要項を参照)。合格者受験番号を大学内(土樋キャンパス)に掲示します。

なお、本学入試課への電話、ファックス、メール等による直接の合否問い合わせには一切お答えしていません。間違いのもとになりますので、ご了承ください。

Q 補欠合格はありますか？

A 合格者の入学手続き状況により、欠員が生じた場合には補欠合格を出すことがあります。合格者には速達郵便で合格通知書を郵送します。ホームページ等での掲載はいたしません。補欠合格の場合は、別に指定された期間内に入学手続きをしなければなりません。

学生納付金等・奨学金制度

●学生納付金等

(平成23年度参考) (単位:円)

項目	文学部・経済学部 経営学部・法学部			文学部(夜間主コース)			工 学 部			教 養 学 部		
	入学時 納付金	後 期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後 期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後 期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金	後 期 (10月) 納付金	合 計
* 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	327,000	327,000	654,000	327,000	327,000	654,000	474,000	474,000	948,000	372,000	372,000	744,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	45,000	45,000	90,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料							35,000	35,000	70,000			
学納金計	687,000	417,000	1,104,000	642,000	372,000	1,014,000	894,000	624,000	1,518,000	752,000	482,000	1,234,000
後 援 会 費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
*同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同 窓 会 費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,500	0	1,500	1,500	0	1,500				1,500	0	1,500
工 学 会 費							800	0	800			
*学生会入会費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学 生 会 費	4,000	0	4,000	4,000	0	4,000	8,000	0	8,000	4,000	0	4,000
諸会費計	28,500	0	28,500	28,500	0	28,500	32,800	0	32,800	28,500	0	28,500
合 計	715,500	417,000	1,132,500	670,500	372,000	1,042,500	926,800	624,000	1,550,800	780,500	482,000	1,262,500

【注意】

- ①平成24年度入学生については、上記の金額が変更されることがあります。
- ②*印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は10月に納入することになります。
- ③本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中(翌年度以降)に改定されることがあります。
- ④入学翌年度からの学生納付金は、前期(5月)と後期(10月)の2期に分けて納入することになります。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金(参考:昨年度第一種1,312名、第二種4,438名)

貸与月額

(平成23年度)

種 別	貸 与 月 額
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅通学 30,000円または54,000円のいずれかを選択する。 自宅外通学 30,000円または64,000円のいずれかを選択する。
第二種奨学金(有利子貸与)	30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円の中から希望月額を選択する。

東北学院大学給付奨学金(参考:昨年度118名)

全学年の学部学生で学業成績・人物ともに優良であり、経済的困窮度が高く、修学困難な学生が対象です。年額300,000円が給付されます。(返還の必要はありません)給付期間は採用された年の1年となります。次年度も給付を希望する場合は、新たに出願し、審査・選考を受けます。

東北学院大学総合人文学科奨学金(参考:昨年度3名)

総合人文学科全学年対象で、授業料の全額または一部が貸与されます。

貸与期間は採用された年の1年間で、次年度も貸与を希望する場合は、新たに出願し、審査・選考を受けます。

東北学院大学夜間主コース給付奨学金(参考:昨年度57名)

文学部・経済学部の夜間主コース全学年の有職者が対象で、年額300,000円が給付されます。(返還の必要はありません)夜間主コース奨学金は1年ごとに審査を受け更新することにより、最長4年間給付を受けられます。

入学時ローン利子給付奨学金(参考:昨年度307名)

金融機関の「教育」を目的としたローンの融資対象となった学部もしくは大学院に入学(編入学含む)する方が対象です。ローンの申込は合格通知到着の日から入学式前日までです。

入学時学生納付金額を上限として、当該融資額に「国の教育ローン」年利率を乗じた金額を給付します。

給付期間は、採用時から最短修業年限内の在学期間です。

手続きは1週間から10日程かかりますので、日程の余裕をもってお申込みください。

地方公共団体奨学金

地方公共団体奨学金は、各都道府県・市区町村等の教育委員会で扱っている奨学金であり、本学で募集推薦するものと各教育委員会に直接申し込むものとがあります。

詳細については、自分の出身地の教育委員会等にお問い合わせください。

民間育英団体奨学金

民間育英団体・財団等で扱っている奨学金制度があり、本学で募集推薦するものと各団体に直接申し込むものとがあります。入学後、学内掲示で募集します。

進学相談会日程

受験生を応援します！
ぜひ、お近くの会場にお越しください。

申込み不要!!
当日参加も
OKです。

今年も新聞社等主催の進学相談会を下記の日程で開催いたします。会場では各種資料を無料で配付し、学部・学科の内容、入試、学生生活、就職などについて本学担当者が相談・質問に応じます。お気軽に本学のコーナーにお立ち寄りください。

北海道		
開催地	開催日時	会場
函館市	6月22日(水) 15:00～18:00	ベルクラシック函館
苫小牧市*	8月19日(金) 15:00～18:00	グランドホテルニュー王子
旭川市	8月22日(月) 15:00～18:00	ロワジールホテル旭川
北見市	8月23日(火) 15:00～18:00	ホテルベルクラシック北見
釧路市	8月24日(水) 15:00～18:00	釧路市観光国際交流センター
帯広市	8月25日(木) 15:00～18:00	ホテル日航ノースランド帯広
札幌市	8月26日(金) 15:00～18:00	札幌パークホテル
函館市	8月29日(月) 15:00～18:00	ベルクラシック函館
室蘭市	8月30日(火) 15:00～18:00	蓬峯殿
小樽市*	9月14日(水) 15:00～18:00	グランドパーク小樽

*は資料のみ参加(願書を配付します)

青森県		
開催地	開催日時	会場
八戸市	5月18日(水) 14:30～18:30	八戸グランドホテル
八戸市	5月23日(月) 15:30～18:30	八戸グランドホテル
弘前市	5月24日(火) 15:30～18:30	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
八戸市	5月25日(水) 15:00～18:00	八戸プラザアーバンホール
青森市	5月26日(木) 15:00～18:00	青森市文化会館
弘前市	5月27日(金) 15:00～18:00	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
弘前市	6月9日(木) 14:30～18:00	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
青森市	6月10日(金) 14:30～18:00	青森グランドホテル
弘前市	6月16日(木) 15:45～18:00	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
青森市	6月22日(水) 14:30～18:30	青森市文化会館
八戸市	7月5日(火) 16:00～19:00	八戸グランドホテル
青森市	9月5日(月) 15:30～18:30	青森国際ホテル
八戸市	9月6日(火) 15:30～18:30	八戸プラザアーバンホール

岩手県		
開催地	開催日時	会場
花巻市	5月17日(火) 15:30～18:00	ホテルグランシェール花巻
盛岡市	5月19日(木) 14:30～18:30	ホテルメトロポリタン盛岡本館
北上市	5月20日(金) 15:00～18:00	北上市民交流プラザ
宮古市	5月21日(土) 13:30～16:00	宮古ホテル沢田屋
盛岡市	5月24日(火) 15:00～18:00	ホテルメトロポリタン盛岡本館
盛岡市	6月8日(水) 15:30～18:30	アイーナ
盛岡市	6月17日(金) 15:30～18:30	ホテルメトロポリタン盛岡本館
盛岡市	6月21日(火) 14:30～18:30	ホテルメトロポリタン盛岡本館
盛岡市	6月27日(月) 15:30～18:00	ホテルメトロポリタン盛岡本館
盛岡市	7月7日(木) 16:00～19:00	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
盛岡市	8月31日(水) 15:30～18:30	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
盛岡市	11月18日(金) 15:00～18:00	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

秋田県		
開催地	開催日時	会場
秋田市	5月23日(月) 15:00～18:00	アルヴェ
由利本荘市	5月24日(火) 15:30～18:00	由利本荘ポートプラザ・アクアパル
横手市	6月7日(火) 14:30～17:30	横手プラザホテル
秋田市	6月8日(水) 14:30～18:00	アルヴェ
秋田市	6月20日(月) 14:30～18:30	ホテルメトロポリタン秋田
秋田市	6月22日(水) 15:30～18:30	ホテルメトロポリタン秋田
秋田市	7月6日(水) 16:00～19:00	秋田ビューホテル
秋田市	9月1日(木) 15:30～18:30	アルヴェ

宮城県		
開催地	開催日時	会場
仙台市	5月16日(月) 14:30～18:30	ホテルメトロポリタン仙台
仙台市	5月31日(火) 16:00～19:30	仙台国際センター
仙台市	6月7日(火) 15:00～18:00	ホテルメトロポリタン仙台
仙台市	6月28日(火) 15:45～18:30	仙台国際ホテル
仙台市	7月4日(月) 16:00～19:00	ホテルモントレ仙台
仙台市	7月5日(火) 15:30～18:30	アエル
仙台市	7月17日(日) 11:00～16:00	仙台サンプラザ
仙台市	7月20日(水) 14:30～18:00	アエル
仙台市	9月12日(月) 15:00～18:30	アエル
仙台市	11月17日(木) 15:00～18:00	アエル

山形県		
開催地	開催日時	会場
山形市	5月10日(火) 15:30～18:30	山形テルサ
米沢市	5月12日(木) 15:30～18:30	グランドホクヨウ米沢
山形市	5月13日(金) 14:30～18:00	山文ビル
酒田市	5月14日(土) 13:30～16:00	酒田市総合文化センター
山形市	6月8日(水) 15:00～18:00	ホテルメトロポリタン山形
新庄市	6月9日(木) 15:30～18:00	新庄ニューグランドホテル
山形市	6月23日(木) 14:30～18:30	ホテルメトロポリタン山形
山形市	9月13日(火) 15:30～18:30	ホテルメトロポリタン山形

福島県		
開催地	開催日時	会場
郡山市	4月28日(木) 15:45～18:30	郡山ビッグアイ
福島市	5月23日(月) 14:30～18:00	コラッセふくしま
郡山市	5月24日(火) 14:30～18:00	郡山ビューホテルアネックス
会津若松市	5月25日(水) 15:00～18:00	会津若松ワシントンホテル
福島市	5月26日(木) 13:20～18:30	エスパル福島
郡山市	6月10日(金) 15:00～18:00	郡山ビューホテルアネックス
会津若松市	6月13日(月) 15:00～18:00	会津若松ワシントンホテル
福島市	6月14日(火) 15:00～18:00	エスパル福島
郡山市	6月22日(水) 15:30～18:00	ホテルハマツ
郡山市	7月8日(金) 16:00～19:00	ホテルハマツ
郡山市	9月15日(木) 15:30～18:30	郡山ビューホテルアネックス
福島市	9月16日(金) 15:30～18:30	MAXふくしま Aoz(アオウゼ)
郡山市	11月16日(水) 15:00～18:00	郡山ビューホテルアネックス

栃木県		
開催地	開催日時	会場
宇都宮市	6月7日(火) 14:30～18:30	マロニエプラザ
宇都宮市	6月8日(水) 14:30～18:30	マロニエプラザ

新潟県		
開催地	開催日時	会場
新潟市	5月22日(日) 11:00～16:00	朱鷺メッセ
新潟市	6月16日(木) 15:00～18:30	ANAクラウンプラザホテル新潟

日程・会場・開催時間は、都合により変更となる場合があります。
最新情報をホームページでご確認願います。

オープンキャンパス

「オープンキャンパス2011」を以下のように予定しています。“入試についてもっと知りたい”“大学の授業はどんな内容？”などの素朴な質問も大歓迎。保護者の方の参加もお待ちしております。参加者には、大学案内、平成23年度一般入試問題集(正答および正答例付)、記念品等をさしあげます。

詳しい情報は、本学のオープンキャンパスサイト(URL <http://www.step-tg.jp/oc/>)をご覧ください。
このほか、学部単位のオープンキャンパスも実施いたします。

〈夏まるごとオープンキャンパス〉

開催日時	学 部	会場キャンパス	主 な 内 容
7/30(土) 9:00 - 15:00	文学部・経済学部 経営学部・法学部 教養学部	泉	<ul style="list-style-type: none"> ●学科ガイダンス ●入試説明 ●個別相談 ●模擬授業 ●在学生との懇談 ●キャンパスツアー(施設見学) ●パイプオルガン演奏会 ●無線LAN体験コーナー(泉) ●仙台一人暮らし情報コーナー(泉) ●無料ドリンク or アイスコーナー
7/30(土) ↓ 7/31(日) 9:00 - 15:00	工学部	多賀城	

7/30のみ 無料シャトルバス運行!

泉キャンパス	地下鉄「泉中央駅」～「泉キャンパス」まで運行 泉キャンパス→多賀城キャンパスも片道運行(12:30発)
多賀城キャンパス	多賀城キャンパス→泉キャンパス(12:30発)

7/30のみ あなたの街から学院大オープンキャンパスへ オープンキャンパス無料送迎バス運行

弘前 十和田	八戸	秋田 横手	気仙沼 一関	原町 相馬	東北学院大学 オープンキャンパス 泉・多賀城	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;"> 無料 予約制 </div> 詳しくはホームページで ご確認ください。
酒田 鶴岡	米沢 長井	喜多方 会津若松	白河 須賀川			

〈初夏さわやかオープンキャンパス〉

開催日時	学 部	会場キャンパス	主 な 内 容
6/25(土) 11:00 - 15:00	文学部・経済学部 経営学部・法学部	土樋	<ul style="list-style-type: none"> ●学科ガイダンス ●入試説明 ●個別相談 ●模擬授業 ●模擬ゼミ ●公開講義 ●在学生との懇談 ●施設公開 ●パネル展示 ●ゼミ紹介
	工学部	多賀城	<ul style="list-style-type: none"> ●学科ガイダンス ●入試説明 ●個別相談 ●模擬授業 ●公開講義(CAD演習) ●在学生との懇談 ●施設公開
7/2(土) 11:00 - 15:00	教養学部	泉	<ul style="list-style-type: none"> ●個別相談 ●入試説明 ●公開講義 ●施設公開

〈秋のオープンキャンパス〉

開催日時	学 部	会場キャンパス	主 な 内 容
10/9(日) 11:00 - 14:00	工学部	多賀城	<ul style="list-style-type: none"> ●学科ガイダンス ●入試説明 ●個別相談 ●施設公開(フリー見学) ※大学祭同日開催
	教養学部	泉	

募集要項(願書)の請求方法

一般入試募集要項・センター試験利用入試募集要項は9月から一般送付します。(送料とも無料)9月以降の進学相談会でも配付します。

- ◆募集要項の封筒には一般入試(前期日程・後期日程)と大学入試センター試験利用入試(前期・後期)の2種類の願書がセットされています。9月になりましたら下記の方法でお申し込みください。
- ◆指定校推薦の推薦入試募集要項(学業推薦・資格取得推薦)は9月下旬に指定校へ送付する予定です。
- ◆公募制の推薦募集要項(スポーツ推薦・キリスト者等推薦)やAO入試募集要項(第一次選抜用)は、学校の進路指導の先生等を通して入試課までお申し込みください。現役生の方には個人送付をいたしません。既卒の方や高等学校卒業程度認定試験合格の方はその限りではありません。直接入試課にお申し込みください。
- ◆募集要項(願書)申込書を利用する方は、本年度受験予定者のみご利用願います。

大学窓口での配付

平日 9時～17時 土樋キャンパス入試課もしくは泉・多賀城キャンパスの各学務係までお申し出ください。
平日 17時以降 各キャンパス正門警備室に準備しています。
土・日・祝日 各キャンパス正門警備室に準備しています。

進学相談会での配付

9月以降の進学相談会(35ページを参照)でも配付いたします。

郵送・宅配による配付

氏名、住所、電話番号、学校名、志望学科、希望願書を明記のうえ送信してください。5日程でお届けいたします。

- ハガキ 右のハガキに記入し、50円切手を貼付して送付してください。
- メール nyushi@staff.tohoku-gakuin.ac.jp
- FAX 022-264-6377

東北学院大学受験生応援サイト「Step! TG」からも請求できます。

Step TG

検索



携帯用

<http://www.step-tg.jp/mobile/>

◀こちらからもアクセスできます。

東北学院大学 募集要項(願書)申込書

本年度、受験予定者のみ希望願書に○をつけてください。(複数可)

- 1.一般入試・センター試験利用入試
- 2.社会人特別入試
- 3.外国人留学生特別入試
- 4.帰国生特別入試
- 5.編入学試験

志望学科に○をつけてください。(複数可)

- 1.英文学科
- 2.総合人文学科
- 3.歴史学科
- 4.経済学科
- 5.共生社会経済学科
- 6.経営学科
- 7.法律学科
- 8.機械知能工学科
- 9.電気情報工学科
- 10.電子工学科
- 11.環境建設工学科
- 12.人間科学科
- 13.言語文化学科
- 14.情報科学科
- 15.地域構想学科

フリガナ
氏名

男・女

住所 〒

都道
府県

学校名

TEL () -

(必ず記入のこと)

AO入試や公募制推薦入試(スポーツ推薦、キリスト者等推薦)は、個人送付しておりません。学校を通してお申し込みください。

このデータは東北学院大学が管理し、本学からの入試情報のお知らせ以外で使用することはありません。

キリトリ線

郵便はがき

50円切手を
お貼りください

980-8511

仙台市青葉区土樋一丁目三番一号
東北学院大学 入試課 行

キリトリ線



■泉キャンパス

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
文学部、経済学部、経営学部、法学部の1年・2年、
教養学部 全学年

■多賀城キャンパス

〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
工学部 全学年

■土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
文学部、経済学部、経営学部、法学部の3年・4年、
文学部・夜間主コース 全学年

入 試 課

〒980-8511
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
TEL:022-264-6455
FAX:022-264-6377
E-mail nyushi@staff.tohoku-gakuin.ac.jp